

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	社会科学	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	井上雄・夕向政広
科目時間数	80 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期	1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義を通じて政治経済の知識を習得し、問題演習を通じて公務員試験本番での得点力向上を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 知識の丸暗記に走ることなく、理解に重点を置き、応用問題が出題されたときであっても基本的な知識から解答を導き出せるようになる。</p>			
使用教材		出版社	
社会科学テキスト 社会科学確認ワーク 社会科学演習ブック 社会科学演習ブック（正答と解説）		実務教育出版 実務教育出版 実務教育出版 実務教育出版	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		社会科学	科目時間総数	80	時間	教員名	井上雄・夕向政広
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標				
1	回	政治 民主政治の基本原則①	直接民主制と間接民主制、法の支配と法治主義の違いはそれぞれ理解できる。				
2	回	政治 民主政治の基本原則②	社会契約説におけるホッブズ、ロック、ルソーのそれぞれの主張がどう違うか理解できる。				
3	回	政治 民主政治の基本原則③	問題演習を通じて、民主政治の基本原則の問題を解けるようになる。				
4	回	経済 需要と供給、経済学説①	需要と供給の法則とは、どのようなものか、需要曲線・供給曲線はどのような場合に移動するか理解できる。				
5	回	経済 需要と供給、経済学説②	問題演習を通じて、需要と供給、経済学説の問題を解けるようになる。				
6	回	政治 主要国の政治制度①	アメリカ合衆国の政治制度を理解できる。				
7	回	政治 主要国の政治制度②	イギリスの政治制度、その他の国の政治制度を理解できる。				
8	回	政治 主要国の政治制度③	問題演習を通じて、主要国の政治制度の問題を解けるようになる。				
9	回	経済 市場①	寡占市場はどのような特徴を持つか、独占の形態にはどのようなものがあるか、理解できる。				
10	回	経済 市場②	問題演習を通じて、市場の問題を解けるようになる。				
11	回	政治 日本国憲法①	日本国憲法と大日本帝国憲法の違い、日本国憲法の前文、天皇の地位・国事行為について理解できる。				
12	回	政治 日本国憲法②	日本国憲法の三大基本原則、国民の三大義務、日本国憲法の改正手続きについて理解できる。				
13	回	政治 日本国憲法③	日本国憲法の問題演習を通じて、問題を解けるようになる。				
14	回	経済 企業①	株式会社の仕組みはどのようなになっているか、中小企業の特徴とはどのようなものか理解できる。				
15	回	経済 企業②	問題演習を通じて、企業の問題を解けるようになる。				
16	回	政治 基本的人権（総論）①	基本的人権の変遷、享有主体、制約について理解できる。				
17	回	政治 基本的人権（総論）②	基本的人権には、どのような種類のものがあるか理解できる。				
18	回	政治 基本的人権（総論）③	問題演習を通じて、基本的人権（総論）の問題を解けるようになる。				
19	回	経済 国民所得と景気変動①	国民総生産（GNP）と国内総生産（GDP）との違いは何か。				
20	回	経済 国民所得と景気変動②	インフレーションとデフレーションはどのような現象か。				
21	回	経済 国民所得と景気変動③	問題演習を通じて、国民所得と景気変動の問題を解けるようになる。				
22	回	政治 基本的人権（各論）①	自由権、社会権には、それぞれどのようなものがあるか理解できる。				
23	回	政治 基本的人権（各論）②	新しい人権とは、どのような人権か理解できる。				
24	回	政治 基本的人権（各論）③	基本的人権（各論）の問題演習を通じて、問題を解けるようになる。				
25	回	経済 金融の仕組み①	金本位制と管理通貨制度との違いは何か、金融政策にはどのようなものがあるか理解できる。				
26	回	経済 金融の仕組み②	問題演習を通じて、金融の仕組みの問題を解けるようになる。				
27	回	政治 国会①	国会の種類、権限にはどのようなものがあるか、それぞれ理解できる。				
28	回	政治 国会②	衆議院の優越とはどのようなものか、理解できる。				
29	回	政治 国会③	問題演習を通じて、国会の問題を解けるようになる。				
30	回	経済 財政の仕組み①	財政政策はどのような仕組みになっているか、直接税と間接税にはどのようなものがあるか。				

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	経済 財政の仕組み②	国債とはどのようなものか。
32 回	経済 財政の仕組み③	問題演習を通じて、財政の仕組みの問題を解けるようになる。
33 回	政治 内閣①	内閣の構成、内閣と内閣総理大臣の権限にはどのようなものがあるか理解できる。
34 回	政治 内閣②	問題演習を通じて、内閣の問題を解けるようになる。
35 回	経済 日本経済の発展①	戦後復興期の傾斜生産方式と特需景気とはどのようなものか、高度経済成長の主な要因は何か理解できる。
36 回	経済 日本経済の発展②	プラザ合意とはどのようなもので、その結果、日本経済はどうか理解できる。
37 回	経済 日本経済の発展③	日本経済の発展の問題演習を通じて、問題を解けるようになる。
38 回	政治 裁判所①	裁判官はどのように任命されるか、司法権の独立とは何か、三審制とはどのような制度か理解できる。
39 回	政治 裁判所②	違憲立法審査権とは何か、裁判員制度とはどのような制度か理解できる。
40 回	政治 裁判所③	問題演習を通じて、裁判の問題を解けるようになる。
41 回	経済 国際経済①	国際収支の構成項目にはどのようなものがあるか、円高・円安は輸出・輸入にどのような影響を及ぼすか理解できる。
42 回	経済 国際経済②	国際通貨体制は、固定為替相場制から変動為替相場制へとどのように移行したか理解できる。
43 回	経済 国際経済③	問題演習を通じて、国際政治の問題を解けるようになる。
44 回	政治 地方自治①	地方自治の本旨とは何か、地方自治の仕組みについて理解できる。
45 回	政治 地方自治②	直接請求権の種類と手続はどのようにになっているか、住民投票、地方財政について理解できる。
46 回	政治 地方自治③	問題演習を通じて、地方自治の問題を解けるようになる。
47 回	経済 地域的経済統合①	ヨーロッパの統合は、どのような過程で進められたか、ASEANやAPECなどの加盟国はどこか理解できる。
48 回	経済 地域的経済統合②	問題演習を通じて、地域的経済統合の問題を解けるようになる。
49 回	政治 政党と選挙制度①	政党と圧力団体の違いは何か、選挙の原則、選挙制度について理解できる。
50 回	政治 政党と選挙制度②	日本の選挙制度はどのようなものか、公職選挙法にはどのような規定があるか理解できる。
51 回	政治 政党と選挙制度③	問題演習を通じて、政党と選挙制度の問題を解けるようになる。
52 回	政治 国際政治①	国際法とはどのようなものか国際司法裁判所と国際刑事裁判所とはどのようなものか理解できる。
53 回	政治 国際政治②	冷戦の成立から終結まで、主にどのような出来事があったか理解できる。
54 回	政治 国際政治③	問題演習を通じて、国際政治の問題を解けるようになる。
55 回	政治 国際連合①	安全保障理事会の構成国と権限はどのようにになっているか、国連専門機関や国連補助機関にはどのようなものがあるか理解できる。
56 回	政治 国際連合②	問題演習を通じて、国際連合の問題を解けるようになる。
57 回	政治問題演習①	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
58 回	政治問題演習②	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
59 回	政治問題演習③	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
60 回	政治問題演習④	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		80		井上雄・夕向政広
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
61 回	政治問題演習⑤	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
62 回	政治問題演習⑥	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
63 回	政治問題演習⑦	政治の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
64 回	経済問題演習①	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
65 回	経済問題演習②	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
66 回	経済問題演習③	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
67 回	経済問題演習④	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
68 回	経済問題演習⑤	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
69 回	経済問題演習⑥	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
70 回	経済問題演習⑦	経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
71 回	政治経済問題演習①	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
72 回	政治経済問題演習②	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
73 回	政治経済問題演習③	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
74 回	政治経済問題演習④	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
75 回	政治経済問題演習⑤	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
76 回	政治経済問題演習⑥	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
77 回	政治経済問題演習⑦	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
78 回	政治経済問題演習⑧	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
79 回	政治経済問題演習⑨	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		
80 回	政治経済問題演習⑩	政治経済の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。		

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	人文科学	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	山田優・夕向政広・ 鱒沢智美・島山真司
科目時間数	190 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択 の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義を通じて政治経済の知識を習得し、問題演習を通じて公務員試験本番での得点力向上を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 知識の丸暗記に走ることなく、理解に重点を置き、応用問題が出題されたときであっても基本的な知識から解答を導き出せるようになる。</p>			
使用教材		出版社	
公務員合格セミナー人文科学テキスト初級本科		実務教育出版	
公務員合格セミナー人文科学確認ワーク初級本科		実務教育出版	
公務員合格セミナー人文科学演習ブック初級本科		実務教育出版	
公務員合格セミナー人文科学演習ブック（正答と解説）初級本科		実務教育出版	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		190 時間	山田優・夕向政広・ 鱒沢智美・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	縄文、弥生、 古墳時代、律令国家① 古代文明①	旧石器時代、縄文時代、弥生時代、縄文文化と弥生文化について学び、内容を理解する。	
2 回	自然環境①	四大文明（メソポタミア文明・エジプト文明）の特色をつかみ、内容を理解する。	
3 回	縄文、弥生、 古墳時代、律令国家② 古代文明②	安定陸塊と侵食平野について学び、内容を理解する。	
4 回	自然環境②	中国・朝鮮の交流、大和政権と古墳文化について学び、内容を理解する。	
5 回	縄文、弥生、 古墳時代、律令国家③ 古代文明③	四大文明（中国文明・インダス文明）の特色をつかみ、内容を理解する。	
6 回	自然環境③	堆積平野について学び、内容を理解する。	
7 回	縄文、弥生、 古墳時代、律令国家④ 古代文明④	飛鳥・奈良・平安時代前期の政治の流れについて学び、内容を理解する。	
8 回	自然環境④	古代ギリシアについて学び、内容を理解する。	
9 回	縄文、弥生、 古墳時代、律令国家⑤ 古代文明⑤	海岸の地形について学び、内容を理解する。	
10 回	自然環境⑤	飛鳥・白鳳・天平文化、弘仁・貞観・国風文化、飛鳥・奈良・平安時代の仏教の動きについて学び、内容を理解する。	
11 回	武家社会の変遷①	古代ローマについて学び、内容を理解する。	
12 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 自然環境⑥	世界の大地形について学び、内容を理解する。	
13 回	武家社会の変遷②	武士の興りと源平の合戦について学び、内容を理解する。	
14 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 自然環境⑦	ローマ帝国の内乱の1世紀から元首政について学び、内容を理解する。	
15 回	武家社会の変遷③	プレート・山地及び、火山地形について学び、内容を理解する。	
16 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 自然環境⑧	鎌倉幕府の成立、承久の乱と執権政治、元寇について学び、内容を理解する。	
17 回	武家社会の変遷④	ローマ帝国の五賢帝時代から専制君主政について学び、内容を理解する。	
18 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 自然環境⑨	その他の地形及び、世界の主な地形について学び、内容を理解する。	
19 回	武家社会の変遷⑤	鎌倉新仏教、鎌倉文化について学び、内容を理解する。	
20 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 自然環境⑩	キリスト教の誕生と発展及び、東西教会の対立と分裂について学び、内容を理解する。	
21 回	武家社会の変遷⑥	大気・海流・水について学び、内容を理解する。	
22 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 気候・土壌①	建武の新政と南北朝の対立、鎌倉幕府の仕組み、主な将軍（足利氏）と国内の政治について学び、内容を理解する。	
23 回	武家社会の変遷⑦	ゲルマン人の大移動とフランク王国の成立について学び、内容を理解する。	
24 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 気候・土壌②	気温と風及び、雨温図とハイサーグラフについて学び、内容を理解する。	
25 回	武家社会の変遷⑧	応仁の乱、日明貿易（勘合貿易）、惣村の形成と一揆について学び、内容を理解する。	
26 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 気候・土壌③	フランク王国の発展と分裂について学び、内容を理解する。	
27 回	武家社会の変遷⑨	ケッペンの気候区分について学び、内容を理解する。	
28 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 気候・土壌④	室町幕府の特色、室町文化について学び、内容を理解する。	
29 回	武家社会の変遷⑩	ビザンツ王国の繁栄について学び、内容を理解する。	
30 回	ローマ帝国とキリスト教 ・ヨーロッパ世界の形成 気候・土壌⑤	土壌帯について学び、内容を理解する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	戦国大名と織豊政権①	戦国大名について学び、内容を理解する。
32 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け① 気候・土壌④	封建社会の成立と崩壊及び、商業の発達と都市の発展について学び、内容を理解する。 植物体について学び、内容を理解する。
33 回	戦国大名と織豊政権②	鉄砲とキリスト教伝来とその背景について学び、内容を理解する。
34 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け② 民族・人口	ローマ＝カトリック教会の発展について学び、内容を理解する。
35 回	・交通・地図①	人種と言語、宗教、アジアの民族・宗教・言語、人種差別問題及び人口問題
36 回	戦国大名と織豊政権③	南蛮貿易について学び、内容を理解する。
37 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け③ 民族・人口	十字軍の遠征について学び、内容を理解する。
38 回	・交通・地図②	交通・通信、世界地図及び、標準時と時差について学び、内容を理解する。
39 回	戦国大名と織豊政権④	織田信長の統一事業について学び、内容を理解する。
40 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け④ 世界の農林水産業①	英仏の発展と百年戦争について学び、内容を理解する。 農業地域の区分について学び、内容を理解する。
41 回	戦国大名と織豊政権⑤	豊臣秀吉の統一事業について学び、内容を理解する。
42 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑤ 世界の農林水産業②	教皇権の衰退について学び、内容を理解する。 世界の農業の動向及び、世界の林業について学び、内容を理解する。
43 回	戦国大名と織豊政権⑥	桃山文化について学び、内容を理解する。
44 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑥ 世界の農林水産業③	大航海時代について学び、内容を理解する。 世界の水産業について学び、内容を理解する。
45 回	幕藩体制①	江戸幕府の成立、江戸幕府の仕組みと大名統制について学び、内容を理解する。
46 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑦ 世界の鉱工業①	ルネサンスについて学び、内容を理解する。 1次エネルギー、発電（2次エネルギー）、主な国の初電源構成、鉱山資源の分布について学び、内容を理解する。
47 回	幕藩体制②	朝廷の統制、身分制の社会について学び、内容を理解する。
48 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑧ 世界の鉱工業②	宗教改革及び反宗教改革について学び、内容を理解する。 主な鉱山資源の産出国、主なエネルギー資源の主要生産・埋蔵国、鉱山資源の主要生産国及び、工場の立地について学び、内容を理解する。
49 回	幕藩体制③	鎖国への歩みについて学び、内容を理解する。
50 回	絶対王政と市民革命① 世界の鉱工業③	ハプスブルク家とスペインの黄金時代及び、オランダの独立と繁栄について学び、内容を理解する。 世界の主な国の鉱工業の特徴について学び、内容を理解する。
51 回	幕藩体制④	鎖国後の江戸時代の政治の流れ①について学び、内容を理解する。
52 回	絶対王政と市民革命②	三十年戦争及び、フランスの宗教内乱と絶対王政について学び、内容を理解する。
53 回	アジア・アフリカ①	アジアの地形・気候について学び、内容を理解する。
54 回		
55 回		
56 回		
57 回		
58 回		
59 回		
60 回		

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		190 時間	山田優・夕向政広・ 鱒沢智美・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	幕藩体制⑤	鎖国後の江戸時代の政治の流れ②について学び、内容を理解する。	
62 回	絶対王政と市民革命③	ロマノフ朝の成立とロシアの発展及び、プロイセンとオーストリアについて学び、内容を理解する。	
63 回	アジア・アフリカ②	アジアの主要国の概要について学び、内容を理解する。	
64 回	幕藩体制⑥	鎖国後の江戸時代の政治の流れ③について学び、内容を理解する。	
65 回	絶対王政と市民革命④	イギリス革命と名誉革命について学び、内容を理解する。	
66 回	アジア・アフリカ③	中国の民族・自治区及び、東南・南アジア諸国の独立について学び、内容を理解する。	
67 回	幕藩体制⑦	文化の特色と主な作品について学び、内容を理解する。	
68 回	絶対王政と市民革命⑤	産業革命について学び、内容を理解する。	
69 回	アジア・アフリカ④	アジアの産業・経済に浮いて学び、内容を理解する。	
70 回	幕藩体制⑧	儒学の興隆と発展、新しい学問について学び、内容を理解する。	
71 回	絶対王政と市民革命⑥	アメリカ独立革命について学び、内容を理解する。	
72 回	アジア・アフリカ⑤	東南アジア主要諸国の輸出品目の変化について学び、内容を理解する。	
73 回	幕藩体制⑨	列強の接近と幕府の対応について学び、内容を理解する。	
74 回	絶対王政と市民革命⑦	フランス革命について学び、内容を理解する。	
75 回	アジア・アフリカ⑥	アフリカ主要国の輸出品目について学び、内容を理解する。	
76 回	幕藩体制⑩	日米和親条約と日米修好通商条約、幕末の貿易について学び、内容を理解する。	
77 回	絶対王政と市民革命⑧	ナポレオン時代とナポレオン時代の終焉について学び、内容を理解する。	
78 回	アジア・アフリカ⑦	アフリカの主要国の特色について学び、内容を理解する。	
79 回	幕藩体制⑪	幕末の動きについて学び、内容を理解する。	
80 回	列強の帝国主義政策①	ウィーン体制の成立と崩壊について学び、内容を理解する。	
81 回	ヨーロッパ①	ヨーロッパの概要、地形、各国の1人当たりのGDPについて学び、内容を理解する。	
82 回	幕藩体制⑫	各国の対応、民衆の動きについて学び、内容を理解する。	
83 回	列強の帝国主義政策②	フランスの七月革命から第三共和政まで学び、内容を理解する。	
84 回	ヨーロッパ②	ヨーロッパ諸国の概要について学び、内容を理解する。	
85 回	明治時代①	中央集権の確立について学び、内容を理解する。	
86 回	列強の帝国主義政策③	ロシアの南下政策とクリミア戦争及び、イタリアの統一について学び、内容を理解する。	
87 回	ヨーロッパ③	ヨーロッパの農業及び、東ヨーロッパの概要について学び、内容を理解する。	
88 回	明治時代②	富国強兵と殖産興業について学び、内容を理解する。	
89 回	列強の帝国主義政策④	ドイツの統一及び、ドイツ帝国の成立とビスマルク外交について学び、内容を理解する。	
90 回	ヨーロッパ④	ロシアの概要、ロシアと周辺の国々及び、世界に占めるロシアの鉱山資源（生産量）について学び、内容を理解する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	明治時代③	明治初期の外交について学び、内容を理解する。
92 回	列強の帝国主義政策⑤	イギリス自由主義の進展と大英帝国の繁栄についての学び、内容を理解する。
93 回	南北アメリカ ・オセアニア①	北アメリカ大陸とアメリカ合衆国の農牧業地域についての学び、内容を理解する。
94 回	明治時代④	自由民権運動と立憲政治の成立についての学び、内容を理解する。
95 回	列強の帝国主義政策⑥	アメリカ合衆国の発展と南北戦争についての学び、内容を理解する。
96 回	南北アメリカ ・オセアニア②	アメリカ合衆国の先端技術産業と南アメリカ大陸についての学び、内容を理解する。
97 回	明治時代⑤	帝国議会、自由党と立憲改進黨についての学び、内容を理解する。
98 回	列強の帝国主義政策⑦	アフリカの植民地化及び、東南アジアの植民地化についての学び、内容を理解する。
99 回	南北アメリカ ・オセアニア③	南アメリカの主要国の特色と中南アメリカの気候、中南アメリカの鉱山資源についての学び、内容を理解する。
100 回	明治時代⑥	条約改正の道のりについての学び、内容を理解する。
101 回	列強の帝国主義政策⑧	イギリスのインド支配についての学び、内容を理解する。
102 回	南北アメリカ ・オセアニア④	オセアニアの概要、オセアニアの地域区分、オーストラリアの土地利用についての学び、内容を理解する。
103 回	明治時代⑦	日清戦争についての学び、内容を理解する。
104 回	第一次世界大戦前後①	交際対立の激化及び、第一次世界大戦の勃発についての学び、内容を理解する。
105 回	日本の自然・貿易①	日本の領域・面積・人口、日本の気候、自然災害についての学び、内容を理解する。
106 回	明治時代⑧	日露戦争についての学び、内容を理解する。
107 回	第一次世界大戦前後②	第一次世界大戦の戦局と終結及び、ヴェルサイユ体制についての学び、内容を理解する。
108 回	日本の自然・貿易②	日本の国土、日本の地帯構造、日本の主な河川と平野・盆地についての学び、
109 回	明治時代⑨	文明開化、教育の普及についての学び、内容を理解する。
110 回	第一次世界大戦前後③	国際連盟の設立及び、軍縮による国際協調の進展についての学び、内容を理解する。
111 回	日本の自然・貿易③	日本の貿易の特色、日本の輸出入品の変化、貿易相手国の変化、日本の主要貿易相手国の輸出入品目と輸出入額についての学び、内容を理解する。
112 回	明治時代⑩	明治時代の思想・学問、明治時代の文学・芸術についての学び、内容を理解する。
113 回	第一次世界大戦前後④	トルコ革命・ロシア革命及び、ソヴィエト政権とソヴィエト連邦の成立についての学び、内容を理解する。
114 回	日本の産業①	日本の農業の特色・問題点、主な農畜産物の生産の都道府県順位についての学び、内容を理解する。
115 回	大正時代～昭和前期①	大正時代の内閣と動きについての学び、内容を理解する。
116 回	第二次世界大戦～現代①	世界恐慌、ファシズムの台頭及び、ナチスドイツの勢力拡大についての学び、内容を理解する。
117 回	日本の産業②	日本の林業の特色・問題点、日本の水産業の特色・問題点についての学び、
118 回	大正時代～昭和前期②	大正デモクラシーについての学び、内容を理解する。
119 回	第二次世界大戦～現代②	第二次世界大戦、太平洋戦争についての学び、内容を理解する。
120 回	日本の産業③	日本の鉄鋼業の歴史・工場、主な工業地帯・地域、先端技術産業、工業の諸問題についての学び、内容を理解する。

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		190	山田優・夕向政広・ 鱒沢智美・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	大正時代～昭和前期③	大正文化について学び、内容を理解する。	
122 回	第二次世界大戦～現代③	第二次世界大戦の終結及び戦後世界秩序の成立について学び、内容を理解する。	
123 回	世界の都市、 公害・環境問題①	村落の立地と形態、日本の都市・都市の種類、都市圏の拡大、世界の主な都市について学び、内容を理解する。	
124 回	大正時代～昭和前期④	第一次世界大戦と日本について学び、内容を理解する。	
125 回	第二次世界大戦～現代④	冷戦の始まりと冷戦下の出来事について学び、内容を理解する。	
126 回	世界の都市、 公害・環境問題②	都市問題、日本の公害、世界の環境問題について学び、内容を理解する。	
127 回	大正時代～昭和前期⑤	第一次世界大戦後の日本と東アジアの動きについて学び、内容を理解する。	
128 回	第二次世界大戦～現代⑤	米ソの緊張緩和と東西冷戦の終結について学び、内容を理解する。	
129 回	地理問題演習①	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
130 回	大正時代～昭和前期⑥	国際協調時代の条約、関東大震災について学び、内容を理解する。	
131 回	イスラーム世界の歴史①	イスラーム教の発祥と特色及び、イスラーム圏の拡大について学び、内容を理解する。	
132 回	地理問題演習②	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
133 回	大正時代～昭和前期⑦	第二次世界大戦前の外交について学び、内容を理解する。	
134 回	イスラーム世界の歴史②	イスラーム社会の多民族化及び、イスラームの文化について学び、内容を理解する。	
135 回	地理問題演習③	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
136 回	大正時代～昭和前期⑧	昭和前半の内閣の動きについて学び、内容を理解する。	
137 回	イスラーム世界の歴史③	トルコ・イラン・インドでのイスラーム国家の発展について学び、内容を理解する。	
138 回	地理問題演習④	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
139 回	第二次世界大戦後の 諸改革①	日本の民主化について学び、内容を理解する。	
140 回	中国の歴史①	古代中国の変遷について学び、内容を理解する。	
141 回	地理問題演習⑤	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
142 回	第二次世界大戦後の 諸改革②	農地改革について学び、内容を理解する。	
143 回	中国の歴史②	漢の変遷について学び、内容を理解する。	
144 回	地理問題演習⑥	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
145 回	第二次世界大戦後の 諸改革③	独立・国際社会復帰への歩みについて学び、内容を理解する。	
146 回	中国の歴史③	魏晋南北朝の変遷について学び、内容を理解する。	
147 回	地理問題演習⑦	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
148 回	第二次世界大戦後の 諸改革④	日本経済の歩みについて学び、内容を理解する。	
149 回	中国の歴史④	隋・唐の変遷について学び、内容を理解する。	
150 回	地理問題演習⑧	地理の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151回	第二次世界大戦後の諸改革⑤	日本外交の流れについての学び、内容を理解する。
152回	中国の歴史⑤	五代十国～宋の変遷について学び、内容を理解する。
153回	第二次世界大戦後の諸改革⑥	現代日本の政治・経済と社会問題について学び、内容を理解する。
154回	中国の歴史⑥	モンゴル帝国～元の変遷について学び、内容を理解する。
155回	第二次世界大戦後の諸改革⑦	現代の文化について学び、内容を理解する。
156回	中国の歴史⑦	明の変遷について学び、内容を理解する。
157回	テーマ史①	文化史・仏教史・教育史①について学び、内容を理解する。
158回	中国の歴史⑧	清の変遷について学び、内容を理解する。
159回	テーマ史②	文化史・仏教史・教育史②について学び、内容を理解する。
160回	中国の歴史⑨	中国の動揺と変革・アヘン戦争と太平天国の乱について学び、内容を理解する。
161回	テーマ史③	律令制度のもとでの土地制度、荘園制の発生から崩壊、太閤検地、地租改正、農地改革について学び、内容を理解する。
162回	中国の歴史⑩	中国の動揺と変革・アロー戦争～辛亥革命について学び、内容を理解する。
163回	テーマ史④	中国・朝鮮との交流について学び、内容を理解する。
164回	中国の歴史⑪	中国革命と日中戦争について学び、内容を理解する。
165回	テーマ史⑤	外国との貿易、戦争と講和条約について学び、内容を理解する。
166回	テーマ史 (キリスト教・東西交流)	キリスト教の歴史について学び、内容を理解する。
167回	日本史問題演習①	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
168回	テーマ史 (キリスト教・東西交流)	東西交流ルートのまとめについて学び、内容を理解する。
169回	日本史問題演習②	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
170回	世界史問題演習①	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
171回	日本史問題演習③	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
172回	世界史問題演習②	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
173回	日本史問題演習④	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
174回	世界史問題演習③	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
175回	日本史問題演習⑤	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
176回	世界史問題演習④	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
177回	日本史問題演習⑥	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
178回	世界史問題演習⑤	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
179回	日本史問題演習⑦	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。
180回	世界史問題演習⑥	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		190	山田優・夕向政広・ 鱒沢智美・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
181 回	日本史問題演習⑧	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
182 回	世界史問題演習⑦	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
183 回	日本史問題演習⑨	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
184 回	世界史問題演習⑧	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
185 回	日本史問題演習⑩	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
186 回	世界史問題演習⑨	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
187 回	日本史問題演習⑪	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
188 回	世界史問題演習⑩	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
189 回	日本史問題演習⑫	日本史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	
190 回	世界史問題演習⑪	世界史の問題演習を通じて、過去に出題された問題を解けるようになる。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	自然科学	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	玉山雄也・井上雄・ 立石勇紀・山下武志
科目時間数	150 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験出題範囲の自然科学分野（理科）の基本的事項を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 物理・化学・生物・地学の各分野の基本的事項を理解し、模試等での問題形式に慣れる。模試での得点は問題の難易度にもよるが、基本的な出題の際には正解を導き出せるようにしたい。</p> <p>【授業における達成課題】 理科全般への苦手意識克服。基本的事項の確認。試験での得点。</p>			
使用教材		出版社	
公務員合格セミナー初級本科自然科学テキスト		実務教育出版	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
自然科学		150 時間	玉山雄也・井上雄・立石勇紀・山下武志
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	物理01	力のつりあい（ばね）について理解することができる。	
2 回	物理02	力のつりあい（浮力）について理解することができる。	
3 回	物理03	力のつりあい（力の合成）について理解することができる。	
4 回	化学01	物質の構成（物質の構成）について理解することができる。	
5 回	化学02	物質の構成（物質の分離）について理解することができる。	
6 回	物理04	力のつりあい（力のつりあい）について理解することができる。	
7 回	物理05	力のつりあい（力のモーメント）について理解することができる。	
8 回	物理06	物体の運動（速度・加速度）について理解することができる。	
9 回	化学03	物質の構成（原子）について理解することができる。	
10 回	化学04	元素の周期表（元素の周期表1）について理解することができる。	
11 回	物理07	物体の運動（v-tグラフと加速度・距離1）について理解することができる。	
12 回	物理08	物体の運動（v-tグラフと加速度・距離2）について理解することができる。	
13 回	化学05	元素の周期表（元素の周期表2）について理解することができる。	
14 回	化学06	化学結合（化学結合）について理解することができる。	
15 回	化学07	化学結合（分子間の結合1）について理解することができる。	
16 回	物理09	物体の運動（自由落下）について理解することができる。	
17 回	物理10	物体の運動（いろいろな落下運動）について理解することができる。	
18 回	化学08	化学結合（分子間の結合2）について理解することができる。	
19 回	化学09	化学結合（結合の種類と物質の性質）について理解することができる。	
20 回	化学10	化学反応と物質質量（化学の基本法則1）について理解することができる。	
21 回	物理11	エネルギーと運動量（運動量保存の法則1）について理解することができる。	
22 回	物理12	エネルギーと運動量（運動量保存の法則2）について理解することができる。	
23 回	化学11	化学反応と物質質量（化学の基本法則2）について理解することができる。	
24 回	化学12	化学反応と物質質量（原子量・分子量と物質質量）について理解することができる。	
25 回	生物01	生物と組織（細胞の構造と働き1）について理解することができる。	
26 回	生物02	生物と組織（細胞の構造と働き2）について理解することができる。	
27 回	生物03	光合成（光合成の過程）について理解することができる。	
28 回	地学01	地球の動き（星の日周運動）について理解することができる。	
29 回	地学02	地球の動き（星の年周運動）について理解することができる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
30 回	物理13	エネルギーと運動量（仕事とエネルギー）について理解することができる。
31 回	物理14	エネルギーと運動量（力学的エネルギー）について理解することができる。
32 回	化学13	化学反応と物質質量（化学反応の量的関係）について理解することができる。
33 回	化学14	化学反応と物質質量（化学反応と熱）について理解することができる。
34 回	生物04	光合成（光の強さと植物の生活）について理解することができる。
35 回	生物05	酸素・呼吸（酸素の性質）について理解することができる。
36 回	生物06	酸素・呼吸（ATP）について理解することができる。
37 回	地学03	地球の動き（太陽の1年の動き）について理解することができる。
38 回	地学04	地球の動き（地球の公転と季節の変化）について理解することができる。
39 回	物理15	エネルギーと運動量（力学的エネルギー保存の法則）について理解することができる。
40 回	物理16	エネルギーと運動量（いろいろなエネルギー）について理解することができる。
41 回	化学15	物質の状態（物質の状態変化1）について理解することができる。
42 回	化学16	物質の状態（物質の状態変化2）について理解することができる。
43 回	生物07	酸素・呼吸（呼吸）について理解することができる。
44 回	生物08	刺激と反応（受容器）について理解することができる。
45 回	生物09	刺激と反応（神経系）について理解することができる。
46 回	地学05	太陽系（太陽系1）について理解することができる。
47 回	地学06	太陽系（太陽系2）について理解することができる。
48 回	物理17	電流と磁界（電流・電位・電位差）について理解することができる。
49 回	物理18	電流と磁界（オームの法則1）について理解することができる。
50 回	化学17	物質の状態（気体）について理解することができる。
51 回	化学18	物質の状態（水溶液）について理解することができる。
52 回	生物10	ヒトの恒常性（食物の消化と吸収）について理解することができる。
53 回	生物11	ヒトの恒常性（肝臓のつくりと働き）について理解することができる。
54 回	地学07	太陽系（太陽系3）について理解することができる。
55 回	地学08	恒星（恒星までの距離）について理解することができる。
56 回	地学09	恒星（恒星の色と表面温度）について理解することができる。
57 回	物理19	電流と磁界（オームの法則2）について理解することができる。
58 回	物理20	電流と磁界（抵抗の接続）について理解することができる。
59 回	化学19	酸と塩基（酸と塩基1）について理解することができる。
60 回	化学20	酸と塩基（酸と塩基2）について理解することができる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	生物12	ヒトの恒常性（体液の恒常性）について理解することができる。
62 回	生物13	ヒトの恒常性（生体防御）について理解することができる。
63 回	地学10	恒星（HR図と恒星の大きさ・質量）について理解することができる。
64 回	地学11	地震（地震波）について理解することができる。
65 回	地学12	地震（地震のエネルギーと分布）について理解することができる。
66 回	物理21	電流と磁界（コンデンサの接続）について理解することができる。
67 回	物理22	電流と磁界（電力とジュール熱1）について理解することができる。
68 回	化学21	酸と塩基（水素イオン指数pH）について理解することができる。
69 回	化学22	酸と塩基（中和反応）について理解することができる。
70 回	生物14	ヒトの恒常性（自律神経系と内分泌系）について理解することができる。
71 回	生物15	植物の反応と調節（刺激と植物の反応）について理解することができる。
72 回	地学13	地震（世界の地震分布）について理解することができる。
73 回	地学14	地震（日本の地震分布）について理解することができる。
74 回	地学15	岩石の分類（岩石の分類1）について理解することができる。
75 回	物理23	電流と磁界（電力とジュール熱2）について理解することができる。
76 回	物理24	電流と磁界（直流・交流）について理解することができる。
77 回	化学23	酸と塩基（中和滴定）について理解することができる。
78 回	化学24	酸化と還元（酸化と還元1）について理解することができる。
79 回	生物16	植物の反応と調節（植物ホルモン）について理解することができる。
80 回	生物17	植物の反応と調節（花芽形成）について理解することができる。
81 回	地学16	岩石の分類（岩石の分類2）について理解することができる。
82 回	地学17	岩石の分類（火山の形と噴火1）について理解することができる。
83 回	物理25	電流と磁界（電流のつくる磁界）について理解することができる。
84 回	物理26	電流と磁界（電磁誘導）について理解することができる。
85 回	化学25	酸化と還元（酸化と還元2）について理解することができる。
86 回	化学26	酸化と還元（金属のイオン化傾向1）について理解することができる。
87 回	生物18	生殖・性の決定（生殖の方法）について理解することができる。
88 回	生物19	生殖・性の決定（減数分裂）について理解することができる。
89 回	地学18	岩石の分（火山の形と噴火2）について理解することができる。
90 回	地学19	地史（地層1）について理解することができる。
91 回	物理27	波動（波の要素）について理解することができる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
92 回	物理28	波動（縦波と横屈折）について理解することができる。
93 回	物理29	波動（波の性質）について理解することができる。
94 回	化学27	酸化と還元（金属のイオン化傾向2）について理解することができる。
95 回	化学28	酸化と還元（電池）について理解することができる。
96 回	生物20	遺伝（メンデルの法則1）について理解することができる。
97 回	生物21	遺伝（メンデルの法則2）について理解することができる。
98 回	生物22	遺伝（いろいろな遺伝）について理解することができる。
99 回	地学20	地史（地層2）について理解することができる。
100 回	地学21	地史（地質年代1）について理解することができる。
101 回	物理30	波動（音の性質）について理解することができる。
102 回	物理31	波動（光の速さ）について理解することができる。
103 回	物理32	波動（光の波長と色1）について理解することができる。
104 回	化学29	酸化と還元（電気分解1）について理解することができる。
105 回	化学30	酸化と還元（電気分解2）について理解することができる。
106 回	生物23	遺伝（連鎖と組換え）について理解することができる。
107 回	生物24	遺伝（伴性遺伝）について理解することができる。
108 回	生物25	遺伝（遺伝子の本体）について理解することができる。
109 回	地学22	地史（地質年代2）について理解することができる。
110 回	地学23	地史（鉱床1）について理解することができる。
111 回	物理33	波動（光の波長と色2）について理解することができる。
112 回	物理34	波動（光の反射・屈折）について理解することができる。
113 回	物理35	波動（凸レンズ）について理解することができる。
114 回	化学31	無機物質と有機物質（ハロゲン元素）について理解することができる。
115 回	化学32	無機物質と有機物質（16族 酸素・硫黄）について理解することができる。
116 回	生物26	生物の集団（個体群の相互作用）について理解することができる。
117 回	生物27	生物の集団（植物群系の種類と分布）について理解することができる。
118 回	生物28	生物の分類・進化（種子植物の分類）について理解することができる。
119 回	地学24	地史（鉱床2）について理解することができる。
120 回	地学25	大気と海洋（大気の姿1）について理解することができる。
121 回	物理36	熱・原子（温度）について理解することができる。
122 回	物理37	熱・原子（物質の三態）について理解することができる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
123回	化学33	無機物質と有機物質（15族 窒素・リン）について理解することができる。
124回	化学34	無機物質と有機物質（14族 炭素・ケイ素）について理解することができる。
125回	化学35	無機物質と有機物質（アルカリ金属）について理解することができる。
126回	生物29	生物の分類・進化（動物の分類）について理解することができる。
127回	生物30	生物の分類・進化（生物の進化）について理解することができる。
128回	地学26	大気と海洋（大気の状態2）について理解することができる。
129回	地学27	大気と海洋（大気圏の構造1）について理解することができる。
130回	地学28	大気と海洋（大気圏の構造2）について理解することができる。
131回	物理38	熱・原子（熱容量）について理解することができる。
132回	物理39	熱・原子（原子の構造）について理解することができる。
133回	化学36	無機物質と有機物質（アルカリ土類金属）について理解することができる。
134回	化学37	無機物質と有機物質（アルミニウム）について理解することができる。
135回	化学38	無機物質と有機物質（有機化合物）について理解することができる。
136回	生物31	食物連鎖・物質の循環（生態系の構造と働き1）について理解することができる。
137回	生物32	食物連鎖・物質の循環（生態系の構造と働き2）について理解することができる。
138回	地学29	大気と海洋（水の循環1）について理解することができる。
139回	地学30	大気と海洋（水の循環2）について理解することができる。
140回	地学31	日本の天気（天気の変化1）について理解することができる。
141回	物理40	熱・原子（原子核の分裂と放射能1）について理解することができる。
142回	物理41	熱・原子（原子核の分裂と放射能2）について理解することができる。
143回	化学39	気体の製法と性質（気体の製法・性質）について理解することができる。
144回	化学40	人間生活と化学（金属）について理解することができる。
145回	化学41	人間生活と化学（セラミックス・プラスチック）について理解することができる。
146回	生物33	食物連鎖・物質の循環（物質の循環とエネルギーの流れ1）について理解することができる。
147回	生物34	食物連鎖・物質の循環（物質の循環とエネルギーの流れ2）について理解することができる。
148回	地学32	日本の天気（天気の変化2）について理解することができる。
149回	地学33	日本の天気（日本列島の天気）について理解することができる。
150回	地学34	日本の天気（地球規模の大気の流れ）について理解することができる。

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	一般知能	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
科目時間数	368 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とし、合わせて一般教養を身につけることをねらいとする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 判断推理、数的推理、資料解釈、文章理解（国語・英語）についての解法を学び、公務員試験における教養の問題が解けるようになる。</p> <p>【授業における達成課題】 各科目・単元における解法を理解し、実際の問題演習で解けるようになる。</p>			
使用教材		出版社	
一般知能テキスト 一般知能演習ブック		実務教育出版 実務教育出版	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		368	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	判断推理 集合	集合の考え方を理解し、問題が解けるようになる。	
2回	数的推理 数の計算	数の扱い方を理解し、問題が解けるようになる。	
3回	資料解釈 数表（実数・割合）	表の見方を理解し、問題が解けるようになる。	
4回	文章理解 現代文（要旨把握）	文の主旨を理解し、問題が解けるようになる。	
5回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
6回	判断推理 集合	集合の考え方を理解し、問題が解けるようになる。	
7回	数的推理 数の計算	数の扱い方を理解し、問題が解けるようになる。	
8回	資料解釈 数表（実数・割合）	表の見方を理解し、問題が解けるようになる。	
9回	文章理解 現代文（要旨把握）	文の主旨を理解し、問題が解けるようになる。	
10回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
11回	判断推理 集合	集合の考え方を理解し、問題が解けるようになる。	
12回	数的推理 数の計算	数の扱い方を理解し、問題が解けるようになる。	
13回	資料解釈 数表（実数・割合）	表の見方を理解し、問題が解けるようになる。	
14回	文章理解 現代文（要旨把握）	文の主旨を理解し、問題が解けるようになる。	
15回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
16回	判断推理 命題	命題・対偶の関係を理解し、問題が解けるようになる。	
17回	数的推理 約数・倍数	約数・倍数の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
18回	資料解釈 数表（実数・割合）	表の見方を理解し、問題が解けるようになる。	
19回	文章理解 現代文（要旨把握）	文の主旨を理解し、問題が解けるようになる。	
20回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
21回	判断推理 命題	命題・対偶の関係を理解し、問題が解けるようになる。	
22回	数的推理 約数・倍数	約数・倍数の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
23回	資料解釈 数表（実数・割合）	表の見方を理解し、問題が解けるようになる。	
24回	文章理解 現代文（要旨把握）	文の主旨を理解し、問題が解けるようになる。	
25回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
26回	判断推理 命題	命題・対偶の関係を理解し、問題が解けるようになる。	
27回	数的推理 約数・倍数	約数・倍数の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
28回	資料解釈 数表（実数・割合）	表の見方を理解し、問題が解けるようになる。	
29回	文章理解 現代文（要旨把握）	文の主旨を理解し、問題が解けるようになる。	
30回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	判断推理 対応関係	対応表の作成ができ、問題が解けるようになる。
32 回	数的推理 商と余り	約数と倍数を応用し、問題が解けるようになる。
33 回	資料解釈 数表（指数・構成比）	指数を使った表や構成比を理解し、問題が解けるようになる。
34 回	文章理解 現代文（内容把握）	選択肢と文章を照らし合わせ、問題が解けるようになる。
35 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
36 回	判断推理 対応関係	対応表の作成ができ、問題が解けるようになる。
37 回	数的推理 商と余り	約数と倍数を応用し、問題が解けるようになる。
38 回	資料解釈 数表（指数・構成比）	指数を使った表や構成比を理解し、問題が解けるようになる。
39 回	文章理解 現代文（内容把握）	選択肢と文章を照らし合わせ、問題が解けるようになる。
40 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
41 回	判断推理 対応関係	対応表の作成ができ、問題が解けるようになる。
42 回	数的推理 商と余り	約数と倍数を応用し、問題が解けるようになる。
43 回	資料解釈 数表（指数・構成比）	指数を使った表や構成比を理解し、問題が解けるようになる。
44 回	文章理解 現代文（内容把握）	選択肢と文章を照らし合わせ、問題が解けるようになる。
45 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
46 回	判断推理 順序関係	等号、不等号、表を用いて、問題が解けるようになる。
47 回	数的推理 記数法	n進法を理解し、問題が解けるようになる。
48 回	資料解釈 数表（指数・構成比）	指数を使った表や構成比を理解し、問題が解けるようになる。
49 回	文章理解 現代文（内容把握）	選択肢と文章を照らし合わせ、問題が解けるようになる。
50 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
51 回	判断推理 順序関係	等号、不等号、表を用いて、問題が解けるようになる。
52 回	数的推理 記数法	n進法を理解し、問題が解けるようになる。
53 回	資料解釈 数表（指数・構成比）	指数を使った表や構成比を理解し、問題が解けるようになる。
54 回	文章理解 現代文（内容把握）	選択肢と文章を照らし合わせ、問題が解けるようになる。
55 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
56 回	判断推理 順序関係	等号、不等号、表を用いて、問題が解けるようになる。
57 回	数的推理 記数法	n進法を理解し、問題が解けるようになる。
58 回	資料解釈 数表（指数・構成比）	指数を使った表や構成比を理解し、問題が解けるようになる。
59 回	文章理解 現代文（内容把握）	選択肢と文章を照らし合わせ、問題が解けるようになる。
60 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		368	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	判断推理 位置関係	条件から位置関係を読み解き、問題が解けるようになる。	
62 回	数的推理 数量問題	文章を方程式にする過程を理解し、問題が解けるようになる。	
63 回	資料解釈 数量(増加率)	増加率・減少率の算出方法を理解し、問題が解けるようになる。	
64 回	文章理解 現代文(空欄補充)	空欄の前後の文章から文の意味をとらえ、問題が解けるようになる。	
65 回	文章理解 英文(内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
66 回	判断推理 位置関係	条件から位置関係を読み解き、問題が解けるようになる。	
67 回	数的推理 数量問題	文章を方程式にする過程を理解し、問題が解けるようになる。	
68 回	資料解釈 数量(増加率)	増加率・減少率の算出方法を理解し、問題が解けるようになる。	
69 回	文章理解 現代文(空欄補充)	空欄の前後の文章から文の意味をとらえ、問題が解けるようになる。	
70 回	文章理解 英文(内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
71 回	判断推理 位置関係	条件から位置関係を読み解き、問題が解けるようになる。	
72 回	数的推理 数量問題	文章を方程式にする過程を理解し、問題が解けるようになる。	
73 回	資料解釈 数量(増加率)	増加率・減少率の算出方法を理解し、問題が解けるようになる。	
74 回	文章理解 現代文(空欄補充)	空欄の前後の文章から文の意味をとらえ、問題が解けるようになる。	
75 回	文章理解 英文(内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
76 回	判断推理 試合の勝敗	勝敗表を作成でき、問題が解けるようになる。	
77 回	数的推理 覆面算・魔法陣	四則演算を理解し、問題が解けるようになる。	
78 回	資料解釈 数量(増加率)	増加率・減少率の算出方法を理解し、問題が解けるようになる。	
79 回	文章理解 現代文(空欄補充)	空欄の前後の文章から文の意味をとらえ、問題が解けるようになる。	
80 回	文章理解 英文(内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
81 回	判断推理 試合の勝敗	勝敗表を作成でき、問題が解けるようになる。	
82 回	数的推理 覆面算・魔法陣	四則演算を理解し、問題が解けるようになる。	
83 回	資料解釈 数量(増加率)	増加率・減少率の算出方法を理解し、問題が解けるようになる。	
84 回	文章理解 現代文(空欄補充)	空欄の前後の文章から文の意味をとらえ、問題が解けるようになる。	
85 回	文章理解 英文(内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
86 回	判断推理 試合の勝敗	勝敗表を作成でき、問題が解けるようになる。	
87 回	数的推理 覆面算・魔法陣	四則演算を理解し、問題が解けるようになる。	
88 回	資料解釈 数量(増加率)	増加率・減少率の算出方法を理解し、問題が解けるようになる。	
89 回	文章理解 現代文(空欄補充)	空欄の前後の文章から文の意味をとらえ、問題が解けるようになる。	
90 回	文章理解 英文(内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	判断推理 発言推理	発言を正しく読み取り、問題が解けるようになる。
92 回	数的推理 数列	等差数列、階差数列を理解し、問題が解けるようになる。
93 回	資料解釈 グラフ（実数・割合）	実数と割合の違いを理解し、問題が解けるようになる。
94 回	文章理解 現代文（文章整序）	指示語や接続語に注意を払い、文章の前後を見分け問題が解けるようになる。
95 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
96 回	判断推理 発言推理	発言を正しく読み取り、問題が解けるようになる。
97 回	数的推理 数列	等差数列、階差数列を理解し、問題が解けるようになる。
98 回	資料解釈 グラフ（実数・割合）	実数と割合の違いを理解し、問題が解けるようになる。
99 回	文章理解 現代文（文章整序）	指示語や接続語に注意を払い、文章の前後を見分け問題が解けるようになる。
100 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
101 回	判断推理 発言推理	発言を正しく読み取り、問題が解けるようになる。
102 回	数的推理 数列	等差数列、階差数列を理解し、問題が解けるようになる。
103 回	資料解釈 グラフ（実数・割合）	実数と割合の違いを理解し、問題が解けるようになる。
104 回	文章理解 現代文（文章整序）	指示語や接続語に注意を払い、文章の前後を見分け問題が解けるようになる。
105 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
106 回	判断推理 数量関係	数量の大小を理解し、問題が解けるようになる。
107 回	数的推理 方程式・関数	公式を用いて式を作成し、問題が解けるようになる。
108 回	資料解釈 グラフ（実数・割合）	実数と割合の違いを理解し、問題が解けるようになる。
109 回	文章理解 現代文（文章整序）	指示語や接続語に注意を払い、文章の前後を見分け問題が解けるようになる。
110 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
111 回	判断推理 数量関係	数量の大小を理解し、問題が解けるようになる。
112 回	数的推理 方程式・関数	公式を用いて式を作成し、問題が解けるようになる。
113 回	資料解釈 グラフ（実数・割合）	実数と割合の違いを理解し、問題が解けるようになる。
114 回	文章理解 現代文（文章整序）	指示語や接続語に注意を払い、文章の前後を見分け問題が解けるようになる。
115 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
116 回	判断推理 数量関係	数量の大小を理解し、問題が解けるようになる。
117 回	数的推理 方程式・関数	公式を用いて式を作成し、問題が解けるようになる。
118 回	資料解釈 グラフ（実数・割合）	実数と割合の違いを理解し、問題が解けるようになる。
119 回	文章理解 現代文（文章整序）	指示語や接続語に注意を払い、文章の前後を見分け問題が解けるようになる。
120 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		368	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	判断推理 操作の手順	条件を表にし、問題が解けるようになる。	
122 回	数的推理 連立方程式	連立方程式を加減法と代入法を用いて、問題が解けるようになる。	
123 回	資料解釈 グラフ（指数・構成	指数・構成比の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
124 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。	
125 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
126 回	判断推理 操作の手順	条件を表にし、問題が解けるようになる。	
127 回	数的推理 連立方程式	連立方程式を加減法と代入法を用いて、問題が解けるようになる。	
128 回	資料解釈 グラフ（指数・構成	指数・構成比の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
129 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。	
130 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
131 回	判断推理 操作の手順	条件を表にし、問題が解けるようになる。	
132 回	数的推理 連立方程式	連立方程式を加減法と代入法を用いて、問題が解けるようになる。	
133 回	資料解釈 グラフ（指数・構成	指数・構成比の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
134 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。	
135 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
136 回	判断推理 暗号	暗号のパターンを理解し、問題が解けるようになる。	
137 回	数的推理 方程式の整数解	条件から数字を読み取り、等式や不等式を用いて問題が解けるようになる。	
138 回	資料解釈 グラフ（指数・構成	指数・構成比の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
139 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。	
140 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
141 回	判断推理 暗号	暗号のパターンを理解し、問題が解けるようになる。	
142 回	数的推理 方程式の整数解	条件から数字を読み取り、等式や不等式を用いて問題が解けるようになる。	
143 回	資料解釈 グラフ（指数・構成	指数・構成比の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
144 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。	
145 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
146 回	判断推理 暗号	暗号のパターンを理解し、問題が解けるようになる。	
147 回	数的推理 方程式の整数解	条件から数字を読み取り、等式や不等式を用いて問題が解けるようになる。	
148 回	資料解釈 グラフ（指数・構成	指数・構成比の基本を理解し、問題が解けるようになる。	
149 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。	
150 回	文章理解 英文（内容把握）	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151 回	判断推理 規則性	規則性を発見し、問題が解けるようになる。
152 回	数的推理 不等式	大小関係を不等号で表せるようになり、問題が解けるようになる。
153 回	資料解釈 グラフ (増加率)	グラフから増減を読み取り、問題が解けるようになる。
154 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。
155 回	文章理解 英文 (内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
156 回	判断推理 規則性	規則性を発見し、問題が解けるようになる。
157 回	数的推理 不等式	大小関係を不等号で表せるようになり、問題が解けるようになる。
158 回	資料解釈 グラフ (増加率)	グラフから増減を読み取り、問題が解けるようになる。
159 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。
160 回	文章理解 英文 (内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
161 回	判断推理 規則性	規則性を発見し、問題が解けるようになる。
162 回	数的推理 不等式	大小関係を不等号で表せるようになり、問題が解けるようになる。
163 回	資料解釈 グラフ (増加率)	グラフから増減を読み取り、問題が解けるようになる。
164 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。
165 回	文章理解 英文 (内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
166 回	判断推理 平面構成	図形の特徴を理解し、問題が解けるようになる。
167 回	数的推理 時計算・年齢算・平均	文字を駆使して方程式をたて、問題が解けるようになる。
168 回	資料解釈 グラフ (増加率)	グラフから増減を読み取り、問題が解けるようになる。
169 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。
170 回	文章理解 英文 (内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
171 回	判断推理 平面構成	図形の特徴を理解し、問題が解けるようになる。
172 回	数的推理 時計算・年齢算・平均	文字を駆使して方程式をたて、問題が解けるようになる。
173 回	資料解釈 グラフ (増加率)	グラフから増減を読み取り、問題が解けるようになる。
174 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。
175 回	文章理解 英文 (内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。
176 回	判断推理 平面構成	図形の特徴を理解し、問題が解けるようになる。
177 回	数的推理 時計算・年齢算・平均	文字を駆使して方程式をたて、問題が解けるようになる。
178 回	資料解釈 グラフ (増加率)	グラフから増減を読み取り、問題が解けるようになる。
179 回	文章理解 古文	基本的な古語を理解し、問題が解けるようになる。
180 回	文章理解 英文 (内容把握)	英単語、文法を理解し、問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		368	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
181回	判断推理 平面分割	分割された図形を元通りに方法を知り、問題が解けるようになる。	
182回	数的推理 集合	ベン図を用いて、必要な領域を求めることができる。	
183回	資料解釈 特殊な図表・グラフ	グラフごとの数値の読み取りを理解し、問題が解けるようになる。	
184回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。	
185回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
186回	判断推理 平面分割	分割された図形を元通りに方法を知り、問題が解けるようになる。	
187回	数的推理 集合	ベン図を用いて、必要な領域を求めることができる。	
188回	資料解釈 特殊な図表・グラフ	グラフごとの数値の読み取りを理解し、問題が解けるようになる。	
189回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。	
190回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
191回	判断推理 平面分割	分割された図形を元通りに方法を知り、問題が解けるようになる。	
192回	数的推理 集合	ベン図を用いて、必要な領域を求めることができる。	
193回	資料解釈 特殊な図表・グラフ	グラフごとの数値の読み取りを理解し、問題が解けるようになる。	
194回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。	
195回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
196回	判断推理 移動・回転・軌跡	回転した図形をイメージでき、問題が解けるようになる。	
197回	数的推理 速さ・時間・距離	単位について理解し公式を用いて式をたて、問題が解けるようになる。	
198回	資料解釈 特殊な図表・グラフ	グラフごとの数値の読み取りを理解し、問題が解けるようになる。	
199回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。	
200回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
201回	判断推理 移動・回転・軌跡	回転した図形をイメージでき、問題が解けるようになる。	
202回	数的推理 速さ・時間・距離	単位について理解し公式を用いて式をたて、問題が解けるようになる。	
203回	資料解釈 特殊な図表・グラフ	グラフごとの数値の読み取りを理解し、問題が解けるようになる。	
204回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。	
205回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
206回	判断推理 移動・回転・軌跡	回転した図形をイメージでき、問題が解けるようになる。	
207回	数的推理 速さ・時間・距離	単位について理解し公式を用いて式をたて、問題が解けるようになる。	
208回	資料解釈 特殊な図表・グラフ	グラフごとの数値の読み取りを理解し、問題が解けるようになる。	
209回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。	
210回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
211 回	判断推理 折り紙と重ね合わせ	切り取られた箇所や重なる場所を図形に書き込み、問題が解けるようになる。
212 回	数的推理 旅人算・流水算	出会う速さ、追い越す速さを理解し、問題が解けるようになる。
213 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。
214 回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。
215 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
216 回	判断推理 折り紙と重ね合わせ	切り取られた箇所や重なる場所を図形に書き込み、問題が解けるようになる。
217 回	数的推理 旅人算・流水算	出会う速さ、追い越す速さを理解し、問題が解けるようになる。
218 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。
219 回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。
220 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
221 回	判断推理 折り紙と重ね合わせ	切り取られた箇所や重なる場所を図形に書き込み、問題が解けるようになる。
222 回	数的推理 旅人算・流水算	出会う速さ、追い越す速さを理解し、問題が解けるようになる。
223 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。
224 回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。
225 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
226 回	判断推理 位相と経路	一筆書きできる図形、最短経路を単純な計算で求められるようになる。
227 回	数的推理 通過算	移動距離や速さを理解し、式をたて問題が解けるようになる。
228 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。
229 回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。
230 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
231 回	判断推理 位相と経路	一筆書きできる図形、最短経路を単純な計算で求められるようになる。
232 回	数的推理 通過算	移動距離や速さを理解し、式をたて問題が解けるようになる。
233 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。
234 回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。
235 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
236 回	判断推理 位相と経路	一筆書きできる図形、最短経路を単純な計算で求められるようになる。
237 回	数的推理 通過算	移動距離や速さを理解し、式をたて問題が解けるようになる。
238 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。
239 回	文章理解 漢字の読み書き	漢字検定2級程度までの常用漢字を読み書きできるようになる。
240 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		368	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
241 回	判断推理 方位と位置	8方位を正しく理解し、位置や距離の関係を図示化し、問題が解けるようになる。	
242 回	数的推理 比、割合	割合を理解し、比で与えられている数値を実数値に置き換え、問題が解けるようになる。	
243 回	資料解釈 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
244 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
245 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
246 回	判断推理 方位と位置	8方位を正しく理解し、位置や距離の関係を図示化し、問題が解けるようになる。	
247 回	数的推理 比、割合	割合を理解し、比で与えられている数値を実数値に置き換え、問題が解けるようになる。	
248 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
249 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が	
250 回	判断推理 方位と位置	8方位を正しく理解し、位置や距離の関係を	
251 回	数的推理 比、割合	割合を理解し、比で与えられている数値を実	
252 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
253 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が	
254 回	判断推理 立体構成	立方体や直方体を重ねた略図を作成し、問題	
255 回	数的推理 濃度	食塩・食塩水・濃度の関係を理解し、問題が解けるようになる。	
256 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
257 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が	
258 回	判断推理 立体構成	立方体や直方体を重ねた略図を作成し、問題が解けるようになる。	
259 回	数的推理 濃度	食塩・食塩水・濃度の関係を理解し、問題が解けるようになる。	
260 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
261 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
262 回	判断推理 立体構成	立方体や直方体を重ねた略図を作成し、問題が解けるようになる。	
263 回	数的推理 濃度	食塩・食塩水・濃度の関係を理解し、問題が解けるようになる。	
264 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
265 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
266 回	判断推理 正多面体	多面体の面の形、頂点、辺の数を理解し、問題が解けるようになる。	
267 回	数的推理 百分率、増加率	何割、何%を理解し、問題が解けるようになる。	
268 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。	
269 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。	
270 回	判断推理 正多面体	多面体の面の形、頂点、辺の数を理解し、問題が解けるようになる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
271 回	数的推理 百分率、増加率	何割、何%を理解し、問題が解けるようになる。
272 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。
273 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
274 回	判断推理 正多面体	多面体の面の形、頂点、辺の数を理解し、問題が解けるようになる。
275 回	数的推理 百分率、増加率	何割、何%を理解し、問題が解けるようになる。
276 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。
277 回	文章理解 英文(空欄補充)	空欄前後の動詞の形、文法を理解し、問題が解けるようになる。
278 回	判断推理 展開図	多面体の展開図を平面で図示化でき、問題が解けるようになる。
279 回	数的推理 仕事算	全体の仕事、単位時間あたりの仕事量、時間や日数の関係を理解し、問題が解けるようになる。
280 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。
281 回	判断推理 展開図	多面体の展開図を平面で図示化でき、問題が解けるようになる。
282 回	数的推理 仕事算	全体の仕事、単位時間あたりの仕事量、時間や日数の関係を理解し、問題が解けるようになる。
283 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。
284 回	判断推理 展開図	多面体の展開図を平面で図示化でき、問題が解けるようになる。
285 回	数的推理 仕事算	全体の仕事、単位時間あたりの仕事量、時間や日数の関係を理解し、問題が解けるようになる。
286 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。
287 回	判断推理 投影図	平面図や正面図を作成し、問題が解けるようになる。
288 回	数的推理 給排水算、ニュートン	単位時間あたりの給水量・排水量を基に式をたて、問題が解けるようになる。
289 回	文章理解 故事成語・四字熟語	普段用いられることが多い故事成語や四字熟語の意味を理解し、問題が解けるようになる。
290 回	判断推理 投影図	平面図や正面図を作成し、問題が解けるようになる。
291 回	数的推理 給排水算、ニュートン	単位時間あたりの給水量・排水量を基に式をたて、問題が解けるようになる。
292 回	判断推理 投影図	平面図や正面図を作成し、問題が解けるようになる。
293 回	数的推理 給排水算、ニュートン	単位時間あたりの給水量・排水量を基に式をたて、問題が解けるようになる。
294 回	判断推理 立体の切断・回転・結	切断の規則や回転後の図形を理解し、問題が解けるようになる。
295 回	数的推理 三角形と面積	三平方の定理を用いて、問題が解けるようになる。
296 回	判断推理 立体の切断・回転・結	切断の規則や回転後の図形を理解し、問題が解けるようになる。
297 回	数的推理 三角形と面積	三平方の定理を用いて、問題が解けるようになる。
298 回	判断推理 立体の切断・回転・結	切断の規則や回転後の図形を理解し、問題が解けるようになる。
299 回	数的推理 円と面積	円の性質を理解し、円周角、接弦定理を用いて問題が解けるようになる。
300 回	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		368	下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	時間	
主な学習内容と到達目標			
301	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
302	数的推理 円と面積	円の性質を理解し、円周角、接弦定理を用いて問題が解けるようになる。	
303	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
304	数的推理 立体図形	表面積や体積を公式を用いて問題が解けるようになる。	
305	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
306	数的推理 立体図形	表面積や体積を公式を用いて問題が解けるようになる。	
307	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
308	数的推理 場合の数	樹形図や表を用いて、数え漏れや重複を防ぎ、問題が解けるようになる。	
309	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
310	数的推理 場合の数	樹形図や表を用いて、数え漏れや重複を防ぎ、問題が解けるようになる。	
311	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
312	数的推理 順列	並び方の公式や円順列の公式を用いて、問題が解けるようになる。	
313	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
314	数的推理 順列	並び方の公式や円順列の公式を用いて、問題が解けるようになる。	
315	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
316	数的推理 組合せ	組合せの公式を用いて、問題が解けるようになる。	
317	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
318	数的推理 組合せ	組合せの公式を用いて、問題が解けるようになる。	
319	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
320	数的推理 組合せ	組合せの公式を用いて、問題が解けるようになる。	
321	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
322	数的推理 確率	順列と組合せを理解し、問題が解けるようになる。	
323	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
324	数的推理 確率	順列と組合せを理解し、問題が解けるようになる。	
325	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
326	数的推理 確率	順列と組合せを理解し、問題が解けるようになる。	
327	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
328	数的推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
329	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	
330	数的推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。	

科目名 一般知能		科目時間総数 368	時間	教員名 下山裕・立石勇紀・伊藤千雅 土川律子・柳谷知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
361 回	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
362 回	数的推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
363 回	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
364 回	数的推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
365 回	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
366 回	数的推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
367 回	判断推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		
368 回	数的推理 問題演習	演習を通し、過去に出題された問題が解けるようになる。		

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	模擬試験	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	玉山 雄也
科目時間数	200 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期	2年次4月～9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員本試験形式の問題演習を重ねることで学力の向上を図り、基礎教養および事務適性試験ならびに作文試験の突破を目指す</p> <p>【授業全体の内容の概要】 実務教育出版提供の模擬試験およびエムクールオリジナル答練を実施する</p> <p>【授業における達成課題】 公務員試験における1次試験突破できる程度の学力を身に着ける</p>			
使用教材		出版社	
公務員模擬試験「第1回～第6回」		実務教育出版	
学内模擬試験「第1回～第14回」		〃	
公開模擬試験「行政・公安」		〃	
エムクールオリジナル答練		盛岡公務員法律専門学校	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		200	玉山 雄也
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	第1回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
2 回	〃	〃	
3 回	〃	〃	
4 回	第1回公務員模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験	
5 回	〃	〃	
6 回	〃	〃	
7 回	第2回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
8 回	〃	〃	
9 回	〃	〃	
10 回	第3回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
11 回	〃	〃	
12 回	〃	〃	
13 回	第2回公務員模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験	
14 回	〃	〃	
15 回	〃	〃	
16 回	第4回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
17 回	〃	〃	
18 回	〃	〃	
19 回	第3回公務員模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験	
20 回	〃	〃	
21 回	〃	〃	
22 回	第5回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
23 回	〃	〃	
24 回	〃	〃	
25 回	第6回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
26 回	〃	〃	
27 回	〃	〃	
28 回	第1回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
29 回	〃	〃	
30 回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	第2回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
32 回	〃	〃
33 回	〃	〃
34 回	第4回公務員模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験
35 回	〃	〃
36 回	〃	〃
37 回	第3回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
38 回	〃	〃
39 回	〃	〃
40 回	第4回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
41 回	〃	〃
42 回	〃	〃
43 回	第7回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験
44 回	〃	〃
45 回	〃	〃
46 回	第5回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
47 回	〃	〃
48 回	〃	〃
49 回	第6回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
50 回	〃	〃
51 回	〃	〃
52 回	第5回公務員模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験
53 回	〃	〃
54 回	〃	〃
55 回	第7回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
56 回	〃	〃
57 回	〃	〃
58 回	第8回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
59 回	〃	〃
60 回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		200	玉山 雄也
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	公開模擬試験（行政）	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験	
62 回	〃	〃	
63 回	〃	〃	
64 回	第9回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
65 回	〃	〃	
66 回	〃	〃	
67 回	第10回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
68 回	〃	〃	
69 回	〃	〃	
70 回	公開模擬試験（公安）	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験	
71 回	〃	〃	
72 回	〃	〃	
73 回	第11回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
74 回	〃	〃	
75 回	〃	〃	
76 回	第12回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
77 回	〃	〃	
78 回	〃	〃	
79 回	第1回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
80 回	〃	〃	
81 回	〃	〃	
82 回	第8回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
83 回	〃	〃	
84 回	〃	〃	
85 回	第13回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
86 回	〃	〃	
87 回	〃	〃	
88 回	第14回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
89 回	〃	〃	
90 回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	第2回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
92 回	〃	〃
93 回	〃	〃
94 回	第9回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験
95 回	〃	〃
96 回	〃	〃
97 回	第15回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
98 回	〃	〃
99 回	〃	〃
100 回	第16回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
101 回	〃	〃
102 回	〃	〃
103 回	第3回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
104 回	〃	〃
105 回	〃	〃
106 回	第10回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験
107 回	〃	〃
108 回	〃	〃
109 回	第17回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
110 回	〃	〃
111 回	〃	〃
112 回	第18回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験
113 回	〃	〃
114 回	〃	〃
115 回	第4回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
116 回	〃	〃
117 回	〃	〃
118 回	第6回公務員模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験ならびに作文試験
119 回	〃	〃
120 回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		200	玉山 雄也
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	第19回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
122 回	〃	〃	
123 回	〃	〃	
124 回	第20回エムクール答練	基礎教養試験および事務適性試験	
125 回	〃	〃	
126 回	〃	〃	
127 回	第5回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
128 回	〃	〃	
129 回	〃	〃	
130 回	第11回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
131 回	〃	〃	
132 回	〃	〃	
133 回	第7回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
134 回	〃	〃	
135 回	〃	〃	
136 回	第8回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
137 回	〃	〃	
138 回	〃	〃	
139 回	第12回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
140 回	〃	〃	
141 回	〃	〃	
142 回	第9回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
143 回	〃	〃	
144 回	〃	〃	
145 回	第10回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
146 回	〃	〃	
147 回	〃	〃	
148 回	第13回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験	
149 回	〃	〃	
150 回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151 回	第11回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
152 回	〃	〃
153 回	〃	〃
154 回	第12回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
155 回	〃	〃
156 回	〃	〃
157 回	第14回学内模擬試験	基礎教養試験および事務適性試験
158 回	〃	〃
159 回	〃	〃
160 回	第13回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
161 回	〃	〃
162 回	〃	〃
163 回	第14回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
164 回	〃	〃
165 回	〃	〃
166 回	第15回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
167 回	〃	〃
168 回	〃	〃
169 回	第16回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
170 回	〃	〃
171 回	〃	〃
172 回	第17回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
173 回	〃	〃
174 回	〃	〃
175 回	第18回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
176 回	〃	〃
177 回	〃	〃
178 回	第19回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験
179 回	〃	〃
180 回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		200	玉山 雄也
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
181 回	第20回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
182 回	〃	〃	
183 回	〃	〃	
184 回	第21回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
185 回	〃	〃	
186 回	〃	〃	
187 回	第22回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
188 回	〃	〃	
189 回	〃	〃	
190 回	第23回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
191 回	〃	〃	
192 回	〃	〃	
193 回	第24回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
194 回	〃	〃	
195 回	〃	〃	
196 回	第25回職種別答練	基礎教養試験および事務適性試験	
197 回	〃	〃	
198 回	〃	〃	
199 回	第26回職種別答練	基礎教養試験	
200 回	〃	〃	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	総合演習	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	下山裕・畠山真司
科目時間数	190 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次2月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 一般知能、一般知識、両分野の頻出テーマについて問題演習を行うことで、重点項目の理解度を上げる</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・人文科学（日本史・世界史・地理）演習 ・社会科学演習（政治・経済・社会）演習 ・自然科学演習（数学・化学・生物・物理・地学）演習 ・一般知能（判断推理、数的推理、資料解釈）演習</p> <p>【授業における達成課題】 職種別の頻出分野を理解し、正答率を上げる</p>			
使用教材		出版社	
人文科学演習ブック・確認ワーク		実務教育出版	
社会科学演習ブック・確認ワーク		〃	
自然科学演習ブック・確認ワーク		〃	
一般知能演習ブック		〃	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
総合演習		190	下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	人文科学演習	日本史：縄文・弥生・古墳時代、律令国家	
2回	社会科学演習	政治：民主政治の基本原理	
3回	自然科学演習	数学：数と式	
4回	一般知能演習	判断推理：命題	
5回	〃	数的推理：数の計算	
6回	人文科学演習	世界史：古代文明	
7回	社会科学演習	経済：需要と供給、経済学説	
8回	自然科学演習	物理：力のつり合い	
9回	一般知能演習	判断推理：集合	
10回	〃	数的推理：数の計算	
11回	人文科学演習	地理：自然環境	
12回	社会科学演習	政治：主要国の政治制度	
13回	自然科学演習	化学：物質の構成	
14回	一般知能演習	判断推理：対応関係	
15回	〃	数的推理：約数・倍数	
16回	人文科学演習	日本史：武家社会の変遷	
17回	社会科学演習	経済：市場	
18回	自然科学演習	生物：細胞と組織	
19回	一般知能演習	判断推理：対応関係	
20回	〃	数的推理：商と余り	
21回	人文科学演習	世界史：ローマ帝国とキリスト教	
22回	社会科学演習	政治：日本国憲法	
23回	自然科学演習	地学：地球の動き	
24回	一般知能演習	判断推理：順序関係	
25回	〃	数的推理：記数法	
26回	人文科学演習	地理：気候・土壌	
27回	社会科学演習	経済：企業	
28回	自然科学演習	数学：方程式と不等式	
29回	一般知能演習	判断推理：順序関係	
30回	〃	数的推理：数量問題	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	人文科学演習	日本史：武家社会の変遷
32 回	社会科学演習	政治：基本的人権
33 回	自然科学演習	物理：物体の運動
34 回	一般知能演習	判断推理：位置関係
35 回	〃	数的推理：覆面算・魔方陣
36 回	人文科学演習	世界史：ローマ帝国とキリスト教
37 回	社会科学演習	経済：国民所得と景気変動
38 回	自然科学演習	化学：元素の周期表、化学結合
39 回	一般知能演習	判断推理：位置関係
40 回	〃	数的推理：数列
41 回	人文科学演習	地理：民族・人口・交通・地図
42 回	社会科学演習	政治：基本的人権
43 回	自然科学演習	生物：光合成
44 回	一般知能演習	判断推理：勝敗関係
45 回	〃	数的推理：方程式
46 回	人文科学演習	日本史：戦国大名と織豊政権
47 回	社会科学演習	経済：金融の仕組み
48 回	自然科学演習	地学：太陽系
49 回	一般知能演習	判断推理：勝敗関係
50 回	〃	数的推理：連立方程式
51 回	人文科学演習	世界史：中世ヨーロッパ
52 回	社会科学演習	政治：国会
53 回	自然科学演習	数学：関数とグラフ
54 回	一般知能演習	判断推理：勝敗関係
55 回	〃	数的推理：時計算
56 回	人文科学演習	地理：世界の農林水産業
57 回	社会科学演習	経済：財政の仕組み
58 回	自然科学演習	物理：エネルギーと運動量
59 回	一般知能演習	判断推理：発言推理
60 回	〃	数的推理：年齢算・平均

科目名		科目時間総数	教員名
総合演習		190	下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	人文科学演習	日本史：戦国大名と織豊政権	
62 回	社会科学演習	政治：内閣	
63 回	自然科学演習	化学：化学反応と物質量	
64 回	一般知能演習	判断推理：数量関係	
65 回	〃	数的推理：集合	
66 回	人文科学演習	世界史：中世ヨーロッパ	
67 回	社会科学演習	経済：日本経済の発展	
68 回	自然科学演習	生物：酸素・呼吸	
69 回	一般知能演習	判断推理：操作の手順	
70 回	〃	数的推理：速度算	
71 回	人文科学演習	地理：世界の鉱工業	
72 回	社会科学演習	政治：裁判所	
73 回	自然科学演習	地学：恒星	
74 回	一般知能演習	判断推理：暗号	
75 回	〃	数的推理：速度算	
76 回	人文科学演習	日本史：幕藩体制	
77 回	社会科学演習	経済：日本経済の発展	
78 回	自然科学演習	数学：関数とグラフ	
79 回	一般知能演習	判断推理：規則性	
80 回	〃	数的推理：通過算	
81 回	人文科学演習	世界史：絶対王政と市民革命	
82 回	社会科学演習	政治：地方自治	
83 回	自然科学演習	物理：電流と磁界	
84 回	一般知能演習	判断推理：平面図形	
85 回	〃	数的推理：流水算	
86 回	人文科学演習	地理：アジア・アフリカ	
87 回	社会科学演習	経済：国際経済	
88 回	自然科学演習	化学：物質の状態	
89 回	一般知能演習	判断推理：平面図形	
90 回	〃	数的推理：旅人算	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	人文科学演習	日本史：幕藩体制
92 回	社会科学演習	政治：政党と選挙
93 回	自然科学演習	生物：人の恒常性
94 回	一般知能演習	判断推理：平面図形
95 回	〃	数的推理：比・割合
96 回	人文科学演習	世界史：絶対王政と市民革命
97 回	社会科学演習	経済：国際経済
98 回	自然科学演習	地学：地震
99 回	一般知能演習	判断推理：軌跡
100 回	〃	数的推理：濃度算
101 回	人文科学演習	地理：ヨーロッパ
102 回	社会科学演習	政治：国際政治
103 回	自然科学演習	数学：関数とグラフ
104 回	一般知能演習	判断推理：折り紙と重ね合わせ
105 回	〃	数的推理：濃度算
106 回	人文科学演習	日本史：明治時代
107 回	社会科学演習	経済：国際経済
108 回	自然科学演習	物理：波動
109 回	一般知能演習	判断推理：位相と経路
110 回	〃	数的推理：仕事算
111 回	人文科学演習	世界史：列強の帝国主義政策
112 回	社会科学演習	政治：国際連合
113 回	自然科学演習	化学：酸と塩基
114 回	一般知能演習	判断推理：方位と位置
115 回	〃	数的推理：仕事算
116 回	人文科学演習	地理：南北アメリカ・オセアニア
117 回	社会科学演習	経済：地域的経済統合
118 回	自然科学演習	生物：植物の反応と調節
119 回	一般知能演習	判断推理：空間図形
120 回	〃	数的推理：ニュートン算

科目名		科目時間総数	教員名
総合演習		190	下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	人文科学演習	日本史：明治時代	
122 回	社会科学演習	政治：日本国憲法	
123 回	自然科学演習	地学：岩石の分類	
124 回	一般知能演習	判断推理：空間図形	
125 回	〃	数的推理：順列・組み合わせ	
126 回	人文科学演習	世界史：列強の帝国主義政策	
127 回	社会科学演習	経済：需要と供給	
128 回	自然科学演習	数学：図形	
129 回	一般知能演習	判断推理：空間図形	
130 回	〃	数的推理：順列・組み合わせ	
131 回	人文科学演習	地理：日本の自然・貿易	
132 回	社会科学演習	社会：社会学	
133 回	自然科学演習	数学：図形	
134 回	一般知能演習	判断推理：空間図形	
135 回	〃	数的推理：確率	
136 回	人文科学演習	日本史：大正時代・昭和前期	
137 回	社会科学演習	政治：国会・内閣	
138 回	自然科学演習	数学：関数とグラフ	
139 回	一般知能演習	判断推理：空間図形	
140 回	〃	数的推理：確率	
141 回	人文科学演習	世界史：第一次世界大戦後	
142 回	社会科学演習	経済：国民所得と景気変動	
143 回	自然科学演習	物理：熱・原子	
144 回	一般知能演習	判断推理：展開図	
145 回	〃	数的推理：確率	
146 回	人文科学演習	地理：日本の産業	
147 回	社会科学演習	社会：労働問題	
148 回	自然科学演習	化学：酸化と還元	
149 回	一般知能演習	判断推理：展開図	
150 回	〃	数的推理：三角形と面積	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151 回	職種別問題演習	国家一般職・税務対策演習（一般知識）
152 回	〃	〃
153 回	〃	〃
154 回	人文科学演習	日本史：大正時代・昭和前期
155 回	社会科学演習	政治：基本的人権
156 回	自然科学演習	生物：生殖・性の決定
157 回	一般知能演習	判断推理：展開図
158 回	〃	数的推理：三角形と面積
159 回	職種別問題演習	国家一般職・税務対策演習（一般知能）
160 回	〃	〃
161 回	〃	〃
162 回	人文科学演習	世界史：第一次世界大戦後
163 回	社会科学演習	経済：金融・財政
164 回	自然科学演習	地学：地史・大気と海洋
165 回	一般知能演習	判断推理：投影図
166 回	〃	数的推理：円と面積
167 回	職種別問題演習	地方初級試験対策演習（一般知識）
168 回	〃	〃
169 回	〃	〃
170 回	人文科学演習	日本史：第二次世界大戦後
171 回	社会科学演習	社会：人口問題
172 回	自然科学演習	数学：数列
173 回	一般知能演習	判断推理：投影図
174 回	〃	数的推理：円と面積
175 回	職種別問題演習	地方初級試験対策演習（一般知能）
176 回	〃	〃
177 回	〃	〃
178 回	人文科学演習	第二次世界大戦～現代
179 回	社会科学演習	社会：社会保障
180 回	自然科学演習	化学：無機物質と有機物質

科目名		科目時間総数	教員名
総合演習		190	下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
181 回	一般知能演習	判断推理：立体の切断・回転・結合	
182 回	〃	数的推理：立体図形の面積・体積	
183 回	職種別問題演習	地方初級試験対策演習（一般知識）	
184 回	〃	〃	
185 回	〃	〃	
186 回	人文科学演習	日本史：第二次世界大戦後	
187 回	社会科学演習	社会：社会保障	
188 回	自然科学演習	生物：遺伝	
189 回	一般知能演習	判断推理：立体の切断・回転・結合	
190 回	〃	数的推理：立体図形の面積・体積	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	スポーツ実習	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	畠山真司・立石勇紀
科目時間数	150 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択の別	必修・選択・ <u>必修選択</u>	開講時期	1年次4月～2年次8月
<p>【授業の目的・ねらい】 公安系公務員試験における体力試験突破に向けた体力の維持・増強とともに、公安職に必須となるチームワークの向上をねらいとする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ウォーミングアップの後、筋力トレーニングを実施する。筋力トレーニング終了後は、球技を中心とした団体競技も実践する。</p> <p>【授業における達成課題】 体力試験においては、腹筋、背筋、腕立て伏せ、シャトルランのような基礎体力が試されるため、その突破を実現できるだけの体力作りを実践する。また、球技のような集団競技を通して、協働することの意義を学ぶ。</p>			
使用教材		出版社	
なし			
<p>【使用教室】 1. HR <u>2. その他</u> (岩手県営体育館および盛岡体育館)</p>			
<p>【評価方法】 <u>1. 定期試験</u> 2. 小テスト <u>3. 出席率</u> <u>4. 受講態度</u> 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実習		150 時間	畠山真司・立石勇紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
2回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
3回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
4回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
5回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
6回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
7回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
8回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
9回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
10回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
11回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
12回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
13回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
14回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
15回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
16回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
17回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
18回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
19回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
20回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
21回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
22回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
23回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
24回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
25回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
26回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
27回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
28回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
29回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
30回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
32 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
33 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
34 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
35 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
36 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
37 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
38 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
39 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
40 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
41 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
42 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
43 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
44 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
45 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
46 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
47 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
48 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
49 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
50 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
51 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
52 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
53 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
54 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
55 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
56 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
57 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
58 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
59 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
60 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実習		150 時間	畠山真司・立石勇紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
62回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
63回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
64回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
65回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
66回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
67回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
68回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
69回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
70回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
71回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
72回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
73回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
74回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
75回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
76回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
77回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
78回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
79回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
80回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
81回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
82回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
83回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
84回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
85回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
86回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
87回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
88回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
89回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
90回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
92回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
93回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
94回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
95回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
96回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
97回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
98回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
99回	実技テスト	体力測定を行い、公安試験における体力試験突破に見合う体力があるかどうかの判定を行う。
100回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
101回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
102回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
103回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
104回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
105回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
106回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
107回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
108回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
109回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
110回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
111回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
112回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
113回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
114回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
115回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
116回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
117回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。
118回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。
119回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。
120回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実習		150	時間 梶山真司・立石勇紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
122 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
123 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
124 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
125 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
126 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
127 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
128 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
129 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
130 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
131 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
132 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
133 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
134 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
135 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
136 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
137 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
138 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
139 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
140 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
141 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
142 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
143 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
144 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
145 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
146 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	
147 回	集団競技	球技（バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボールのいずれか）を行い、チームワークを高める。	
148 回	ウォーミングアップ	準備運動（ランニング）、ストレッチを行い、ケガの防止に努める。	
149 回	筋力トレーニング	筋力トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、シャトルラン等）を行い、基礎体力を養う。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
150 回	実技テスト	体力測定を行い、公安試験における体力試験突破に見合う体力があるかどうかの判定を行う。

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	ビジネス教養 I	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	下山裕・畠山真司
科目時間数	150 時間	授業の種類	講義・演習・実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	簿記：1年次4月～2月 電卓：2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 日商簿記検定3級程度の知識の取得および電卓検定2級程度の技術の習得をすることで、経理知識および技能の習得を目指す。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 日商簿記検定3級を学び小規模企業における経理知識を身に着けた上で、電卓技術の習得をすることで実務における即戦力としての力を養うことができる。</p> <p>【授業における達成課題】 日商簿記検定3級の取得および全経電卓検定2級以上の合格</p>			
使用教材		出版社	
「日商簿記3級 合格テキスト」 「日商簿記3級 合格トレーニング」 電卓検定対策プリント		TAC出版 〃 本校オリジナル	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】 【内容】 前職にて職務を1年経験（簿記）</p>			

科目名 ビジネス教養 I		科目時間総数 150 時間	教員名 下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	導入	簿記の意義と経理知識の習得の必要性を理解することができる	
2 回	簿記の基本	簿記の5要素について理解できる	
3 回	〃	仕訳のルールについて理解できる	
4 回	〃	現金取引のみの仕訳ができる	
5 回	〃	転記ができる	
6 回	〃	合計、残高を理解し、集計ができる	
7 回	〃	現金取引のみの仕訳をした上で、転記・集計ができる	
8 回	商品売買 I	現金取引における、商品売買について仕訳できる（三分法）	
9 回	〃	掛け取引について仕訳できる	
10 回	〃	人名勘定を用いての掛け取引を仕訳できる	
11 回	〃	掛け取引について仕訳を集計ができる	
12 回	〃	分記法で仕訳ができる	
13 回	〃	手付金・内金について仕訳ができる	
14 回	〃	商品券について仕訳ができる	
15 回	〃	様々な商品売買について仕訳をし集計できる	
16 回	商品売買 II	返品処理について仕訳できる	
17 回	〃	自己負担の諸掛りについて仕訳できる	
18 回	〃	返品、諸掛りについて仕訳をし、集計できる	
19 回	〃	立替払いの諸掛りについて仕訳できる	
20 回	〃	様々な商品売買について仕訳をし集計できる	
21 回	現金・預金	現金の範囲について理解し、仕訳ができる	
22 回	〃	当座預金について仕訳ができる	
23 回	〃	〃	
24 回	〃	当座借越について仕訳ができる	
25 回	〃	普通預金・定期預金について仕訳ができる	
26 回	〃	現金・預金について仕訳をし集計ができる	
27 回	小口現金	小口現金について仕訳ができる	
28 回	〃	小口現金出納帳の作成ができる	
29 回	クレジット売掛金	クレジット販売について仕訳ができる	
30 回	手形取引	約束手形について仕訳ができる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	〃	約束手形について仕訳をし集計ができる
32 回	〃	手形貸付・借入について仕訳ができる
33 回	電子記録債権・債務	電子記録債権・債務について仕訳ができる
34 回	〃	電子記録債権・債務について仕訳をし集計ができる
35 回	その他の取引Ⅰ	貸付金・借入金について仕訳ができる
36 回	〃	利息計算ができる
37 回	〃	貸付金・借入金の仕訳をし、集計ができる
38 回	その他の取引Ⅱ	有形固定資産の購入・売却について仕訳ができる
39 回	〃	〃
40 回	〃	固定資産台帳について理解できる
41 回	〃	有形固定資産の賃借について仕訳ができる
42 回	〃	未収入金・未払金について仕訳ができる
43 回	〃	未収入金・未払金について仕訳をし集計ができる
44 回	〃	修繕と改良について仕訳ができる
45 回	その他の取引Ⅲ	仮払金・仮受金について仕訳ができる
46 回	〃	〃
47 回	〃	給与について仕訳ができる
48 回	〃	所得税・社会保険料の源泉徴収について仕訳ができる
49 回	〃	その他の取引Ⅲの内容について仕訳をし集計ができる
50 回	訂正仕訳	訂正仕訳ができる
51 回	補助簿	売掛金元帳・買掛金元帳について理解できる
52 回	〃	商品有高帳の作成ができる
53 回	〃	〃
54 回	〃	現金出納帳・当座預金出納帳について理解できる
55 回	〃	手形記入帳について理解できる
56 回	試算表	様々な試算表作成問題が解ける
57 回	〃	〃
58 回	〃	〃
59 回	決算整理Ⅰ	現金過不足の処理ができる
60 回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス教養 I		150	下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	決算整理Ⅱ	貯蔵品・当座借越について処理できる	
62 回	決算整理Ⅲ	売上原価の算定ができる	
63 回	決算整理Ⅳ	貸倒れについて処理できる	
64 回	〃	貸倒引当金の設定ができる	
65 回	決算整理Ⅴ	減価償却費の計算・処理ができる	
66 回	〃	〃	
67 回	〃	減価償却している固定資産の売却処理ができる	
68 回	決算整理Ⅵ	経過勘定（前払・前受）の処理ができる	
69 回	〃	経過勘定（未収・未払）の処理ができる	
70 回	精算表	様々な精算表作成問題が解ける	
71 回	〃	〃	
72 回	〃	〃	
73 回	〃	〃	
74 回	〃	〃	
75 回	損益計算書と貸借対照表	様々な損益計算書・貸借対照表作成問題が解ける	
76 回	〃	〃	
77 回	〃	〃	
78 回	株式の発行	株式会社の本質を理解し、株式発行の仕訳ができる	
79 回	剰余金の配当と処分	利益（損失）の振替えおよび剰余金の配当・処分に関する仕訳ができる	
80 回	税金	法人税等の処理ができる	
81 回	〃	消費税の処理ができる	
82 回	証票と伝票	証票について理解し、仕訳ができる	
83 回	〃	伝票について理解し、起票および仕訳ができる	
84 回	〃	一部現金取引の伝票について処理できる	
85 回	簿記検定対策	第1問について対策をする	
86 回	〃	〃	
87 回	〃	〃	
88 回	〃	〃	
89 回	〃	第3問について対策をする	
90 回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	〃	〃
92 回	〃	〃
93 回	〃	第5問について対策をする
94 回	〃	〃
95 回	〃	〃
96 回	〃	〃
97 回	〃	第2問について対策をする
98 回	〃	〃
99 回	〃	第4問について対策をする
100 回	〃	〃
101 回	オリエンテーション	電卓操作の基本および電卓技術の有用性について理解する
102 回	見取り算	見取り算について、正しく電卓で計算を行い、7割以上正解できる
103 回	〃	〃
104 回	〃	〃
105 回	〃	〃
106 回	〃	〃
107 回	〃	〃
108 回	〃	〃
109 回	複合算	複合算について、正しく電卓で計算を行い、7割以上正解できる
110 回	〃	〃
111 回	〃	〃
112 回	〃	〃
113 回	〃	〃
114 回	〃	〃
115 回	〃	〃
116 回	乗算	乗算について、正しく電卓で計算を行い、7割以上正解できる
117 回	〃	〃
118 回	〃	〃
119 回	〃	〃
120 回	〃	〃

科目名 ビジネス教養 I		科目時間総数 150 時間	教員名 下山裕・畠山真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	乗算	乗算について、正しく電卓で計算を行い、7割以上正解できる	
122 回	〃	〃	
123 回	除算	除算について、正しく電卓で計算を行い、7割以上正解できる	
124 回	〃	〃	
125 回	〃	〃	
126 回	〃	〃	
127 回	〃	〃	
128 回	〃	〃	
129 回	〃	〃	
130 回	伝票算	伝票算について、正しく電卓で計算を行い、7割以上正解できる	
131 回	〃	〃	
132 回	〃	〃	
133 回	〃	〃	
134 回	〃	〃	
135 回	〃	〃	
136 回	〃	〃	
137 回	検定対策	模擬問題において正答率7割以上が取れる	
138 回	〃	〃	
139 回	〃	〃	
140 回	〃	〃	
141 回	〃	〃	
142 回	〃	〃	
143 回	〃	〃	
144 回	〃	〃	
145 回	〃	〃	
146 回	〃	〃	
147 回	〃	〃	
148 回	〃	〃	
149 回	〃	〃	
150 回	〃	〃	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	ビジネス教養Ⅱ	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	柳谷 知宏
科目時間数	80 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・ <u>必修選択</u>	開講時期	1年次4月～12月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員として、また、ビジネスパーソンとして必要な基礎的法律知識を身につけることを目的として、ビジネス実務法務検定3級の合格に向けた授業を行う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 民法・商法・知的財産権を中心に、社会人として習得しておくべき法律を幅広く学習していく。授業では、インプットとアウトプットを同時に行い、検定本番で得点できる力を養成する。</p> <p>【授業における達成課題】 ビジネス実務法務検定3級合格</p>			
使用教材		出版社	
ビジネス実務法務検定3級基本テキスト		TAC株式会社	
<p>【使用教室】 <u>1. HR</u> 2. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト <u>3. 出席率</u> <u>4. 受講態度</u> 5. 課題提出・内容 <u>6. 検定試験</u> 7. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス教養Ⅱ		80 時間	柳谷 知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	コンプライアンス	コンプライアンスとは何か、コンプライアンスに関連する重要概念を理解できる。	
2 回	法律の基礎知識	法律の定義・分類、権利の救済方法について理解できる。	
3 回	民法の基礎知識	私法の基本原則、財産権の種類について理解できる。	
4 回	権利義務の主体	権利義務の主体として、どのようなものがあるか把握することができる。	
5 回	法人の意義・種類	法人とは何か、どのようなものがあるのか把握することができる。	
6 回	契約の概念	契約が有効に成立するとどうなるか、契約の種類にはどのようなものがあるのか把握することができる。	
7 回	契約の成立①	心裡留保について理解できる。	
8 回	契約の成立②	通謀虚偽表示・錯誤について理解できる。	
9 回	契約の成立③	詐欺による意思表示・強迫による意思表示の取消しについて理解できる。	
10 回	契約の成立④	代理とは何か・無権代理とは何かについて理解できる。	
11 回	契約の成立⑤	自己契約・双方代理・表見代理について理解できる。	
12 回	契約の成立⑥	期限・条件・期間の違いがわかる。	
13 回	契約の成立⑦	手付・内金の性質について理解できる。	
14 回	契約成立後の問題①	債務の履行（弁済）について理解できる。	
15 回	契約成立後の問題②	債務不履行の履行遅滞について理解できる。	
16 回	契約成立後の問題③	債務不履行の履行不能と不完全履行について理解できる。	
17 回	契約成立後の問題④	特定物売買・危険負担について理解できる。	
18 回	売買以外の契約①	消費貸借契約・寄託契約がどのような契約なのか理解できる。	
19 回	売買以外の契約②	賃貸借契約の意義・借地借家法の適用範囲について理解できる。	
20 回	売買以外の契約③	賃貸人の義務と賃借人の義務について理解できる。	
21 回	売買以外の契約④	賃貸借の存続期間・賃借権の譲渡・転貸について理解できる。	
22 回	売買以外の契約⑤	請負契約がどのような契約なのか理解できる。	
23 回	売買以外の契約⑥	委任契約・寄託契約がどのような契約なのか理解できる。	
24 回	契約によらない債権・債務の発生①	不法行為について理解できる。	
25 回	契約によらない債権・債務の発生②	自動車の運行供用者責任・製造物責任について理解できる。	
26 回	契約によらない債権・債務の発生③	不当利得・事務管理について理解できる。	
27 回	財産取得にかかわる法律①	不動産物権変動・動産物権変動の対抗要件・不動産登記簿の仕組みについて理解できる。	
28 回	財産取得にかかわる法律②	債権譲渡の債務者に対する対抗要件・第三者に対する対抗要件がそれぞれ何か、理解することができる。	
29 回	財産取得にかかわる法律③	即時取得とはどのような制度か理解できる。	
30 回	債権の管理回収①	弁済・代物弁済・更改・免除とは何か理解できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	債権の管理回収②	相殺・供託・混同とは何か理解できる。
32 回	債権の管理回収②	時効とはどのような制度か理解できる。
33 回	債権の担保①	担保の必要性と種類について理解できる。
34 回	債権の担保②	留置権とは何か・留置権の性質と効力について理解できる。
35 回	債権の担保③	先取特権とは何か・動産の先取特権について理解できる。
36 回	債権の担保④	質権とは何か・質権の性質と効力・流質契約について理解できる。
37 回	債権の担保⑤	質権の種類・債権質について理解できる。
38 回	債権の担保⑥	抵当権とは何か・被担保債権の範囲・抵当権の及ぶ範囲について理解できる。
39 回	債権の担保⑦	抵当権の性質・効力・根抵当権について理解できる。
40 回	債権の担保⑧	非典型担保（譲渡担保・仮登記担保・所有権留保）とは何か理解できる。
41 回	債権の担保⑨	連帯債務・保証債務・連帯保証債務の仕組みについて理解できる。
42 回	商行為・商人	商行為・商人とは何か理解できる。
43 回	商業登記・商号	商業登記・商号とは何か理解できる。
44 回	会社の仕組み①	会社の種類・株式会社とは何か、理解できる。
45 回	会社の仕組み②	株式会社の構造・種類について理解できる。
46 回	会社の仕組み③	株式会社の機関である株主総会・取締役・取締役会・代表取締役とは何か、理解できる。
47 回	会社の仕組み④	株式会社の機関である会計参与・監査役・監査役会・会計監査人とは何か理解できる。
48 回	会社の仕組み⑤	委員会設置会社・会社の使用人について理解できる。
49 回	手形と小切手①	手形・小切手の種類・性質について理解できる。
50 回	手形と小切手②	手形の譲渡・手形訴訟・手形の不渡りと処分・手形の支払・手形割引について理解できる。
51 回	手形と小切手③	小切手の記載事項・特殊な小切手について理解できる。
52 回	裁判所に対する手続きによる債権回収	民事訴訟手続・調停・和解・即決和解・支払督促について理解できる。
53 回	強制執行の手続	債務名義・強制執行の手続について理解できる。
54 回	取引に関する各種の規制①	独占禁止法・大店立地法の基本が理解できる。
55 回	取引に関する各種の規制②	消費者契約法の基本が理解できる。
56 回	取引に関する各種の規制③	割賦販売法の基本が理解できる。
57 回	取引に関する各種の規制④	特定商取引法の基本が理解できる。
58 回	取引に関する各種の規制⑤	特許権・実用新案権について理解できる。
59 回	取引に関する各種の規制⑥	著作権・意匠権について理解できる。
60 回	取引に関する各種の規制⑦	意匠権・商標権について理解できる。

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス教養Ⅱ		80	柳谷 知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	取引に関する各種の規制⑧	個人情報保護法の基本が理解できる。	
62 回	ビジネスと犯罪	刑法上の犯罪と・会社法上の犯罪について理解できる。	
63 回	従業員の雇用と労働関係①	労働契約・就業規則・賃金について理解できる。	
64 回	従業員の雇用と労働関係②	休憩時間・休日・年次有給休暇について理解できる。	
65 回	従業員の雇用と労働関係③	男女雇用機会均等法・労働者派遣事業法の基本が理解できる。	
66 回	取引と家族関係	婚姻・離婚・夫婦間の財産関係について理解できる。	
67 回	相続①	法定相続人の範囲と法定相続分の計算方法の基本を理解できる。	
68 回	相続②	単純承認と限定承認と相続放棄の違いがわかる。	
69 回	相続③	自筆証書遺言・公正証書遺言・秘密証書遺言の違いがわかる。	
70 回	相続④	遺産分割協議について理解できる。	
71 回	問題演習①	得点率6割以上	
72 回	問題演習②	得点率6割以上	
73 回	問題演習③	得点率7割以上	
74 回	問題演習④	得点率7割以上	
75 回	問題演習⑤	得点率7割以上	
76 回	問題演習⑥	得点率7割以上	
77 回	問題演習⑦	得点率8割以上	
78 回	問題演習⑧	得点率8割以上	
79 回	問題演習⑨	得点率8割以上	
80 回	問題演習⑩	得点率8割以上	

科目名		科目時間総数	教員名
基礎教養		80	伊藤 千雅
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	整数・小数	整数・小数の四則計算ができる。	
2	約数・倍数	約数・倍数を求めることができる。	
3	小数・分数	小数を分数に、分数を小数に直すことができる。	
4	分数の約分	分数の約分ができ、分数の足し算、引き算ができる。	
5	分数の計算	分数の四則計算ができる。	
6	1～5回まとめ	復習テスト	
7	単位	単位の変換（時→分、m→km、分速→時速など）ができる。	
8	平均	平均を計算できる。	
9	比・割合	比と割合の計算ができる。	
10	正負の数	正負の数の大小関係の判断ができ、正の数と負の数が混ざった計算ができる。	
11	式の計算	未知数 (x, y) の入った式の計算ができる。	
12	7～11回まとめ	復習テスト	
13	乗法公式	乗法公式を使い、式の展開ができる。	
14	〃	〃	
15	因数分解	簡単な式の因数分解、たすき掛けを用いた因数分解ができる。	
16	〃	〃	
17	三次式	複雑な式の展開ができる。	
18	〃	複雑な式の因数分解ができる。	
19	平方根	ある数の平方根を求めることができる。	
20	〃	平方根の有理化ができる。	
21	〃	〃	
22	〃	平方根を用いた、高度な問題を解くことができる。	
23	12～22回まとめ	復習テスト	
24	2次方程式	因数分解、たすき掛け、解の公式を用いて、解を求めることができる。	
25	〃	〃	
26	〃	判別式を用いて、解の個数を求めることができる。	
27	〃	解と係数の関係（和と積）を用いて、式の値を求めることができる。	
28	整式の割り算	筆算で高次式の割り算ができる。	
29	〃	剰余の定理を用いて、高度な問題を解くことができる。	
30	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	3次方程式	3次式を組み立て除法を用いて、因数分解できる。
32回	〃	因数分解を用いて、3次方程式の解を求めることができる。
33回	〃	高次式の高度な問題を解くことができる。
34回	24～33回まとめ	復習テスト
35回	1次関数	1次関数のグラフを描くことができる。グラフから1次関数の式を求めることができる。
36回	〃	傾き、切片などをもとに、直線の式を求めることができる。
37回	〃	〃
38回	〃	直線の交点の座標を求めることができる。
39回	〃	1次関数の高度な問題を解くことができる。
40回	35～39回まとめ	復習テスト
41回	まとめ	確認テスト
42回	2次関数①	平方完成を用いて、グラフの向き、軸、頂点を求めることができる。
43回	〃	2次関数のグラフ（放物線）を描くことができる。
44回	〃	2次関数のグラフ（放物線）の平行移動に関する問題を解くことができる。
45回	〃	〃
46回	〃	2次関数のグラフ（放物線）の対称移動に関する問題を解くことができる。
47回	〃	〃
48回	〃	2次関数のグラフ（放物線）の平行移動と対称移動の組合せの問題を解くことができる。
49回	〃	〃
50回	〃	2次関数の最大値・最小値を求めることができる。
51回	〃	〃
52回	〃	グラフの軸、頂点の座標、最大値、最小値などをもとに、2次関数の式を求めることができる。
53回	〃	〃
54回	42～53回まとめ	復習テスト
55回	2次関数②	2次関数のグラフとx軸との共有点の座標を求めることができる。
56回	〃	2次関数のグラフがx軸から切り取る線分の長さを求めることができる。
57回	〃	判別式を用いて、2次関数のグラフとx軸の共有点の個数に関する問題を解くことができる。
58回	〃	2次関数のグラフと直線の共有点の座標に関する問題を解くことができる。
59回	〃	2次不等式を解いたり、条件を満たす不等式を求めることができる。
60回	〃	連立2次不等式を解くことができる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61回	〃	2次不等式の高度な問題を解くことができる。
62回	〃	〃
63回	〃	グラフと領域を正しく捉えることができる。
64回	55～63回まとめ	復習テスト
65回	三角比①	三角比の定義（鋭角、鈍角）、代表的な三角比の値を正しく捉えることができる。
66回	〃	三角比を用いた問題を解くことができる。
67回	三角比②	正弦定理を正しく捉え、これを用いて問題を解くことができる。
68回	〃	余弦定理を正しく捉え、これを用いて問題を解くことができる。
69回	〃	〃
70回	三角比③	三角比を用いて、三角形の面積を求めることができる。
71回	〃	三角比を用いる高度な問題を解くことができる。
72回	〃	〃
73回	65～72回まとめ	復習テスト
74回	まとめ	確認テスト
75回	総合演習	公務員採用試験（高校卒業程度）に出題される範囲の問題を解くことができる。
76回	〃	〃
77回	〃	〃
78回	〃	〃
79回	〃	〃
80回	〃	〃

授業計画表

公務員ビジネス学科

盛岡公務員法律専門学校

科目名 マナー応用	教員名 照井 基規
科目時間数： 16 時間	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別： 必修・選択・ <u>必修選択</u>	開講時期： 2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 社会人として必要となるビジネスマナーを実践することで、ヒューマンスキルが身につき不安なく職務に取り組める社会人になることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションを通じ自分自身の見識や価値観を広め他者と協力して取り組むことができる内容である。</p> <p>【授業における達成課題】 社会人になってから経験することを事前に実践することで、今後に向けて見識を広めることができる。</p>	
使用教材	出版社
<p>【使用教室】 <u>1. HR</u> 2. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト <u>3. 出席率</u> <u>4. 受講態度</u> <u>5. 課題提出・内容</u> 6. 検定試験 <u>7. その他</u> (プレゼンテーション)</p>	
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>	
<p>【担当職員の実務経験】</p>	

科目名 マナー応用		科目時間総数 16	時間	教員名 照井 基規
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	オリエンテーション	授業の目的を理解し、身につく力をイメージすることができる。		
2 回	相手に伝える力	自分が伝えたいことを整理し全体に発表することで伝える力を身につけることができる。		
3 回	〃	〃		
4 回	企画する力	各テーマに沿った催し物の企画を考え発表することで、企画する力やプレゼンテーション力を身につけることができる。		
5 回	〃	〃		
6 回	〃	〃		
7 回	〃	〃		
8 回	〃	〃		
9 回	接遇の基本	案内の仕方、名刺交換、お茶の運び方を実践することで身につけることができる。		
10 回	〃	〃		
11 回	電話対応	実際の電話機を使い信頼いただける電話対応を実践することで身につけることができる。		
12 回	〃	〃		
13 回	食事でのマナー	和食、洋食、中華、立食パーティー、お酒の席でのマナーを身につけることができる。		
14 回	〃	〃		
15 回	〃	〃		
16 回	まとめ	授業で学んだことを今後どのように活かすことができるかをまとめレポート作成し提出する。		

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	法律応用	学科名	公務員ビジネス科Ⅲ種
		担当教員	吉田 友哉
科目時間数	16 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・ <u>選択</u> ・必修選択	開講時期	2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 行政職に就くものとして必要である行政法について学び、その理解を深めることで、行政職員として働く準備をすることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 行政法について、理論と判例の学習を通じて、行政職員として必要な行政法の基本について学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 授業で扱う範囲の内容について、行政法の基本レベルの理解を目標とする。</p>			
使用教材		出版社	
レジュメ			
<p>【使用教室】 1. <u>HR</u> 2. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. <u>定期試験</u> 2. <u>小テスト</u> 3. <u>出席率</u> 4. <u>受講態度</u> 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
法律応用		16	吉田 友哉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	行政法の全体像	行政と行政法の関係について、行政法の基礎となる原則を意識しながら学ぶ。	
2	行政活動について	行政の役割と行政行為の種類を学び、必要に応じて具体例にも触れる。	
3	行政活動について	行政の役割と行政行為の種類を学び、必要に応じて具体例にも触れる。	
4	行政活動の主体と組織について	行政活動の主体と行政組織の構成について学ぶ。	
5	法律による行政の原理について	法律による行政の意味、法律の留保の原則、および違法性について、判例を踏まえながら学ぶ。	
6	行政裁量について	行政裁量と、行政による裁量権の逸脱・濫用について、判例を踏まえながら学ぶ。	
7	行政裁量について	行政裁量と、行政による裁量権の逸脱・濫用について、判例を踏まえながら学ぶ。	
8	行政立法について	行政立法や通達などの内部規範について、その概要を学ぶ。	
9	行政処分の効力について	「公定力」などの行政処分の効力について学ぶ。	
10	行政処分の変更について	行政処分の職権取消しと撤回等について、判例を踏まえながら学ぶ。	
11	行政による強制と行政上の制裁について	行政による強制と行政上の制裁について、判例を踏まえながら学ぶ。	
12	行政指導について	行政指導について、判例を踏まえながら学ぶ。	
13	行政計画や行政契約、行政調査について	行政計画や行政契約、行政調査について、判例を踏まえながら学ぶ。	
14	不服申立てと行政事件訴訟について	不服申立てと行政事件訴訟の概要につて、判例を踏まえながら学ぶ。	
15	損失補償と国家賠償について	損失補償と国家賠償の概要について、判例を踏まえながら学ぶ。	
16	復習と確認テスト	授業の復習と、理解度を図るためのテストを実施する。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	総合実践	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	下山 裕・畠山 真司・夕向 政広 立石 勇紀・伊藤 千雅
科目時間数	150 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次4月～2年次8月
<p>【授業の目的・ねらい】 学生同士あるいは地域社会の方々といった他者との関りを通して、視野を広げ、気づき・考え・行動できる人材へと成長することを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションおよび行事準備、運営、インターンシップなど他者と協力することをメインとする内容である。</p> <p>【授業における達成課題】 自分の考えを伝えることができることや他者との考えの違いを受け入れ協働できること、また自ら積極的に人や地域と関りを持つことができる。</p>			
使用教材		出版社	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（インターンシップ受入れ企業および盛岡市大通商店街）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（プレゼンテーション）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		150 時間	真司・夕向 政広 立石
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	オリエンテーション	授業の目的を理解し、最終的に何が身につけばよいかを具体的にイメージする	
2 回 3 必修	コミュニケーションゲーム（宝探しゲーム）	ヒントを頼りに、グループで答えを見つけることができる	
4 回	グループワーク（仕事と生活の関わり）	身近にある仕事についてグループで調査、研究を行い生活にどの程度密着したものであるのか理解を深める	
5 回	〃	〃	
6 回	〃	〃	
7 回	〃	〃	
8 回	〃	〃	
9 回	〃	〃	
10 回	〃	発表資料の作成のためのPCスキルを学ぶ	
11 回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーションについて理解した上で、発表準備を実践する	
12 回	〃	〃	
13 回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる	
14 回	〃	〃	
15 回	〃	〃	
16 回	〃	〃	
17 回	〃	グループごとの反省会・レポート作成	
18 回	〃	〃	
19 回 20 回	グループディスカッション（100億あったら働くか？）	他者の考えを聞き、多様な価値観を受け入れることができる 自らの考えを相手に説明することができる	
21 回 22 回	グループディスカッション（こんな人とは働きたくない）	自らの職業感について、相手に説明できる 他者の職業感についても理解をする	
23 回 24 回	グループディスカッション（採用するなら「ウサギ」と「カメ」どちらか？）	社会で求められる人材像について考えるきっかけとできる 自らの課題を発見できる	
25 回 26 回	ディベート（コンビニエンスストアの24時間営業の是非）	日々のニュースなどに関心を抱き、問題意識を持つことができる 自らの考えを主張できる	
27 回 28 回	ディベート（救急車の有料化の是非）	〃 〃	
29 回 30 回	インターンシップ準備 〃	夏季長期休暇中に職業体験をしてみたい企業、自治体のリストアップ 企業、自治体の業務内容の調査をし、理解をする	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	〃	〃
32回	〃	〃
33回	〃	インターンシップ希望先への受け入れの可否について問い合わせを行う
34回	〃	〃
35回	〃	〃
36回	〃	取り交わし文書の作成を行う
37回	グループワーク（公務員試験調べ）	公務員について（業務内容および試験内容等）グループで調査・研究を行い、職業理解を深める
38回	〃	〃
39回	〃	〃
40回	〃	〃
41回	〃	〃
42回	〃	〃
43回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーション資料の作成を目標に実践する
44回	〃	〃
45回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる
46回	〃	〃
47回	〃	〃
48回	〃	〃
49回	〃	グループごとの反省会・レポート作成
50回	〃	〃
51回	インターンシップ報告会	インターンシップで経験した内容についてレポートの作成
52回	〃	インターンシップでの経験をまとめ、プレゼンテーションを実践するための資料の作成
53回	〃	〃
54回	〃	〃
55回	〃	〃
56回	〃	インターンシップで学んだことを適切に相手にプレゼンテーションできる
57回	〃	〃
58回	〃	〃
59回	〃	〃
60回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		150	真司・夕向 政広 立石
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	MCL文化祭準備	盛岡市大通商店街との連携を通し、地域に貢献することの意義を理解する	
62 回	〃	盛岡市大通商店街に出店するブースについて、グループごとに企画を考える	
63 必修	〃	〃	
64 回	〃	出店に際し、必要な経費、物品および人員の配置、来客予想などについて検討し計画書の作成を行う	
65 回	〃	〃	
66 回	〃	出店に必要な物品の手配、作成の実践	
67 回	〃	〃	
68 回	〃	〃	
69 回	〃	〃	
70 回	〃	MCL文化祭当日における運営（来客対応、準備、撤収等）	
71 回	〃	〃	
72 回	〃	〃	
73 回	〃	〃	
74 回	東京研修旅行準備	東京研修旅行の内容（自治体および企業訪問）と趣旨を理解する	
75 回	〃	希望する訪問自治体および企業のリストアップ	
76 回	〃	訪問希望の自治体および企業研究をし、理解を深める	
77 回	〃	〃	
78 回	〃	訪問企業先へ電話連絡を行い、受け入れの可否を確認する	
79 回	〃	〃	
80 回	〃	訪問先への質問事項および交通計画など検討し、計画書の作成を行う	
81 回	〃	〃	
82 回	東京研修旅行	計画した研修旅行の実践をし、職業意識の向上を図る	
83 回	〃	〃	
84 回	〃	〃	
85 回	〃	〃	
86 回	〃	〃	
87 回	〃	〃	
88 回	〃	〃	
89 回	グループワーク（自主企画による地域貢献活動とは？）	グループワークの趣旨について説明を受け、理解し、地域についてより深く考えるきっかけとする	
90 回		地域に貢献するために自らができることについて研究し、地域や人のために貢献したいという意欲を向上させる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91回	〃	〃
92回	〃	〃
93回	〃	〃
94回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーション資料の作成を目標に実践する
95回	〃	〃
96回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる
97回	〃	〃
98回	〃	〃
99回	〃	〃
100回	〃	グループごとの反省会・レポート作成
101回	〃	〃
102回	面接対策授業（自分史作成）	自己分析の意義を理解し、意識を高める
103回	〃	自らの生き立ちを振り返り、自分の長所・短所・公務員を目指すきっかけや働くことの意義に気づくことができる
104回	〃	〃
105回	面接対策授業（受験先分析）	受験分析の意義を理解し、意識を高める
106回	〃	志望動機や携わりたい業務など、公務員としてどのように地域に貢献したいかを言葉にすることができる
107回	〃	〃
108回	面接対策授業（模擬面接・学生間）	学生同士で模擬面接を行い、どのような人材が社会人として適切であるかを理解する。
109回	〃	〃
110回	〃	〃
111回	〃	〃
112回	面接対策授業（模擬面接・対教員）	面接官役の教員との集団模擬面接を行い、社会人として適切な人材であるかを理解する。
113回	〃	〃
114回	〃	〃
115回	〃	〃
116回	グループディスカッション（過去問実践）	グループディスカッションでの評価ポイントを理解する
117回	〃	過去に公務員試験で出題されたテーマを元にグループディスカッションを行い、相手に伝える力を向上させる
118回	〃	〃
119回	〃	〃
120回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		150 時間	真司・夕向 政広 立石
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	1分間および3分間スピーチ準備	趣旨を理解し、プレゼン力を向上させるためにはどうすべきか考える	
122 回	〃	自己分析、受験先分析をさらに深め、相手に好印象を与えるスピーチ内容を考える	
123 必修	〃	〃	
124 回	〃	〃	
125 回	1分間および3分間スピーチ実践	人前で堂々とプレゼンテーションすることができ、かつ他者のプレゼンテーションを聞いて、自己の成長にできる	
126 回	〃	〃	
127 回	〃	〃	
128 回	〃	〃	
129 回	〃	〃	
130 回	〃	〃	
131 回	受験合宿準備	受験合宿での目的を理解し、意欲を高めることができる	
132 回	〃	自己分析、受験先分析を深めるとともに、面接カードおよび自己紹介表の作成を実施する	
133 回	〃	〃	
134 回	〃	〃	
135 回	受験合宿（グループワーク）	他クラスの学生とのグループワークを通じて、コミュニケーション能力を向上させることができる	
136 回	〃	〃	
137 回	〃	〃	
138 回	〃	〃	
139 回	受験合宿（模擬面接）	担任以外の教員との模擬面接を通じて、自己の再発見ができる	
140 回	〃	〃	
141 回	〃	〃	
142 回	〃	〃	
143 回	面接対策授業（模擬面接・学生間）	学生同士で模擬面接を行い、どのような人材が社会人として適切であるかの理解をより深めるとともに、面接官役を経験することで質問力の向上を図る	
144 回	〃	〃	
145 回	〃	〃	
146 回	〃	〃	
147 回	面接対策授業（模擬面接・対教員）	面接官役の教員との集団模擬面接を行い、自己表現力をさらに高める	
148 回	〃	〃	
149 回	〃	〃	
150 回	〃	〃	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	PCスキル I	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	藤村俊記・櫻田栄子
科目時間数 :	80 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次4月～10月
<p>【授業の目的・ねらい】 Wordの基本から応用まで、一通りの操作を習得する。 便利な機能があるのに意外と使われていないことが多いので、体系的に習得することで、職場からの信頼を得られるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 サーティファイ検定3級・2級に準拠した内容。 Word:基本からビジネス文書作成、さらに見栄えのよい文書作成に必要なスキルを学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 サーティファイのWord文書処理技能検定2級または3級取得。</p>			
使用教材		出版社	
Word文書処理技能認定試験1・2級問題集		サーティファイ	
【使用教室】			
1. HR 2. その他 ()			
【評価方法】			
1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度			
5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()			
【備考】			
評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。			
【担当職員の実務経験】			

科目名		科目時間総数	教員名
PCスキル I		80	藤村俊記・櫻田栄子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	時間 主な学習内容と到達目標	
1 回	Word1	Wordの基本概要を学ぶ。	
2 回	Word2	Wordのアプリケーションの起動、キー操作を学ぶ。	
3 回	Word3	Word検定の合格基準を学ぶ。	
4 回	Word4	文字入力と変換、文書の保存を学ぶ。	
5 回	Word5	文字入力と変換、文書の保存を学ぶ。	
6 回	Word6	文字の編集と移動・コピーを学ぶ。	
7 回	Word7	文字の編集と移動・コピーを学ぶ。	
8 回	Word8	書式設定と罫線・網掛けを学ぶ。	
9 回	Word9	書式設定と罫線・網掛けを学ぶ。	
10 回	Word10	ヘッダー・フッターの設定と印刷を学ぶ。	
11 回	Word11	ヘッダー・フッターの設定と印刷を学ぶ。	
12 回	Word12	段落番号・箇条書きについて学ぶ。	
13 回	Word13	段落番号・箇条書きについて学ぶ。	
14 回	Word14	タブ設定・インデントを学ぶ。	
15 回	Word15	タブ設定・インデントを学ぶ。	
16 回	Word16	ビジネス文書の書き方を学ぶ。	
17 回	Word17	ビジネス文書の書き方を学ぶ。	
18 回	Word18	Word文書内への表の挿入について学ぶ。	
19 回	Word19	Word文書セルの選択、列幅、行の高さ変更の操作を学ぶ。	
20 回	Word20	Word文書内の罫線の装飾、セルの塗りつぶし操作を学ぶ。	
21 回	Word21	Word文書内の文字の配色について学ぶ。	
22 回	Word22	図形の作成、コピー、移動の操作を学ぶ。	
23 回	Word23	サイズ変更、グループ化について学ぶ。	
24 回	Word24	画像の挿入、加工について学ぶ。	
25 回	Word25	クードアート、文字列の折返しについて学ぶ。	
26 回	Word26	Word検定3級演習1	
27 回	Word27	Word検定3級演習2	
28 回	Word28	Word検定3級演習3	
29 回	Word29	Word検定3級演習4	
30 回	Word30	Word検定3級演習5	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	Word31	Word検定3級演習6
32 回	Word32	Word検定3級演習7
33 回	Word33	Word検定3級演習8
34 回	Word34	Word検定3級演習9
35 回	Word35	ホームポジションについて学ぶ。
36 回	Word36	入力練習をする。
37 回	Word37	文字変換のタイミングについて学ぶ。
38 回	Word38	検索・置換と文書の校正について学ぶ。
39 回	Word39	検索・置換と文書の校正について学ぶ。
40 回	Word40	禁則文字の設定について学ぶ。
41 回	Word41	禁則文字の設定について学ぶ。
42 回	Word42	文書ファイルの挿入について学ぶ。
43 回	Word43	文書ファイルの挿入について学ぶ。
44 回	Word44	編集記号の表示、非表示設定について学ぶ。
45 回	Word45	編集記号の表示、非表示設定について学ぶ。
46 回	Word46	書式のコピー、段落番号について学ぶ。
47 回	Word47	書式のコピー、段落番号について学ぶ。
48 回	Word48	スタイルの登録、変更について学ぶ。
49 回	Word49	スタイルの細かい設定について学ぶ。
50 回	Word50	スタイル設定の注意事項を学ぶ。
51 回	Word51	段組と表内の配置、並び替えについて学ぶ。
52 回	Word52	段組と表内の配置、並び替えについて学ぶ。
53 回	Word53	SmartArtの使い方を学ぶ。
54 回	Word54	SmartArtの色の変更、入力方法を学ぶ。
55 回	Word55	SmartArtの書式変更、図形の追加について学ぶ。
56 回	Word56	SmartArtのサイズ変更について学ぶ。
57 回	Word57	図形編集と縦書き回転、クリップアートについて学ぶ。
58 回	Word58	図形編集と縦書き修正の仕方について学ぶ。
59 回	Word59	図形編集と縦書き整列、グループ化について学ぶ。
60 回	Word60	図形編集と縦書き袋とじ設定について学ぶ。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
61 回	Word61	Word検定2級演習1
62 回	Word62	Word検定2級演習2
63 回	Word63	Word検定2級演習3
64 回	Word64	Word検定2級演習4
65 回	Word65	Word検定2級演習5
66 回	Word66	Word検定2級 知識問題1
67 回	Word67	Word検定2級 知識問題2
68 回	Word68	Word検定2級 知識問題3
69 回	Word69	Word検定2級 知識問題4
70 回	Word70	Word検定2級 知識問題5
71 回	Word71	Word検定2級演習6
72 回	Word72	Word検定2級演習7
73 回	Word73	Word検定2級演習8
74 回	Word74	Word検定2級演習9
75 回	Word75	Word検定2級演習10
76 回	Word76	Word検定2級演習11
77 回	Word77	Word検定2級サンプル問題演習1
78 回	Word78	Word検定2級サンプル問題演習2
79 回	Word79	Word検定2級サンプル問題演習3
80 回	Word80	Word検定2級サンプル問題演習4

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 PCスキルⅡ	学科名	公務員ビジネス科
	担当教員	藤村俊樹
科目時間数 : 40 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・選択・必修選択	開講時期	2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 Excelの基本から応用まで、一通りの捜査を習得する。 便利な機能があるのに意外と使われていないことが多いので、体系的に習得することで、職場からの信頼を得られるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 サーティファイ検定2級に準拠した内容。 Excel:基本的な操作から関数、マクロまでを学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 サーティファイのExcel表計算処理技能検定2級または3級取得。</p>		
使用教材	出版社	
Excel表計算処理技能認定試験1・2級問題集	サーティファイ	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	時間	教員名
PCスキルⅡ		40		藤村俊樹
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 回	Excel1	データの入力規制を学ぶ。		
2 回	Excel2	表示形式を学ぶ。		
3 回	Excel3	条件付書式設定を学ぶ。		
4 回	Excel4	数式の入力方法を学ぶ。		
5 回	Excel5	セルの書式設定について学ぶ。		
6 回	Excel6	セルの書式設定について学ぶ。		
7 回	Excel7	表示形式について学ぶ。		
8 回	Excel8	列幅・行の高さの設定について学ぶ。		
9 回	Excel9	印刷の仕方を学ぶ。		
10 回	Excel10	グラフの作成・グラフの種類を学ぶ。		
11 回	Excel11	グラフの構成要素を学ぶ。		
12 回	Excel12	グラフの書式設定を学ぶ。		
13 回	Excel13	ワークシートの管理について学ぶ。		
14 回	Excel14	関数の入力方法を学ぶ。		
15 回	Excel15	さまざまな関数を学ぶ。		
16 回	Excel16	関数のファイルコピー、絶対参照を学ぶ。		
17 回	Excel17	データベースについて学ぶ。		
18 回	Excel18	Excel検定3級演習1		
19 回	Excel19	Excel検定3級演習2		
20 回	Excel20	Excel検定3級演習3		
21 回	Excel21	データの入力規制を学ぶ		
22 回	Excel22	表示形式について学ぶ。		
23 回	Excel23	条件付書式設定について学ぶ。		
24 回	Excel24	関数の書式、文字列操作関数を学ぶ。		
25 回	Excel25	データベース関数を学ぶ。		
26 回	Excel26	検索、行列関数を学ぶ。		
27 回	Excel27	数学、三角関数を学ぶ。		
28 回	Excel28	統計関数、論理関数を学ぶ。		
29 回	Excel29	日付関数、情報関数を学ぶ。		
30 回	Excel30	グラフ機能について学ぶ。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	Excel31	複数ワークシートの連携について学ぶ。
32 回	Excel32	アウトラインについて学ぶ。
33 回	Excel33	データベースについて学ぶ。
34 回	Excel34	データベースについて学ぶ。
35 回	Excel35	データ分析について学ぶ。
36 回	Excel36	マクロについて学ぶ。
37 回	Excel37	マクロについて学ぶ。
38 回	Excel38	Excel検定2級演習1
39 回	Excel39	Excel検定2級演習2
40 回	Excel40	Excel検定2級演習3

科目名		科目時間総数	教員名
マナー基礎		8	下山 裕
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	マナー及び接遇	敬語と接遇用語	
2 回	マナー及び接遇	人間関係と話し方・聞き方、指示の受け方、報告のしかた	
3 回	マナー及び接遇	来客への対応、電話応対	
4 回	マナー及び接遇	慶事及び弔辞におけるマナー、上書きと水引の結び方、贈答のマナー	
5 回	技能	会議についての基礎知識	
6 回	技能	ビジネス文書についての基礎知識	
7 回	技能	社内文書及び社外文書の書き方	
8 回	技能	郵便物の取り扱い	

科目名		科目時間総数	教員名
法律基礎		20	吉田 友哉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	民法と刑法の基本	不法行為に対する責任についての事例をみながら、民法と刑法を学ぶ。	
2 回	民法と刑法の基本	使用者責任や責任無能力者の監督責任についての事例をみながら、民法と刑法を学ぶ。	
3 回	民法と刑法の基本	責任無能力の監督責任や制限行為能力者についての事例をみながら、民法と刑法を学ぶ。	
4 回	民法と刑法の基本	家族関係についての事例を見ながら、民法と刑法を学ぶ。	
5 回	民法と刑法の基本	家族関係についての事例を見ながら、民法と刑法を学ぶ。	
6 回	復習クイズ	ここまでの授業を振り返り、確認クイズを解く。	
7 回	法律の全体像	憲法や民法などの各法律の役割と、それぞれの関係性を学ぶ。	
8 回	民法の基本	「権利の乱用の禁止」や「所有権絶対の原則」などの民法の原則について、必要に応じて判例を読みながら学ぶ。	
9 回	民法の基本	権利と義務および行為能力等について、必要に応じて判例を見ながら学ぶ。	
10 回	民法の基本	制限行為能力者について、必要に応じて判例を見ながら学ぶ。	
11 回	民法の基本	法律行為と意思表示について学ぶ。	
12 回	民法の基本	法律行為と意思表示について学ぶ。	
13 回	復習クイズ	ここまでの授業を振り返り、確認クイズを解く。	
14 回	刑法の基本	刑法の基礎理論について、民法と刑法の違いを意識しながら学ぶ。	
15 回	刑法の基本	犯罪論について、具体例を挙げながら学ぶ。	
16 回	刑法の基本	犯罪論について、具体例を挙げながら学ぶ。	
17 回	刑法の基本	構成要件について、具体例を挙げながら学ぶ。	
18 回	刑法の基本	構成要件について、具体例を挙げながら学ぶ。	
19 回	刑法の基本	違法性阻却事由について、具体例を挙げながら学ぶ。	
20 回	復習クイズ	ここまでの授業を振り返り、確認クイズを解く。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	卒業研究	学科名	公務員ビジネス科
		担当教員	下山 裕・畠山 真司
科目時間数	45 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 1年次より学習してきた一般教養ならびに地域社会における課題について自身の興味関心に基づき、研究を行い理解を深めることを目的とする</p> <p>【授業全体の内容の概要】 人文科学分野（歴史、地理）および地域社会（自治体の魅力や課題等）ならびに文化についてグループでの研究を実施し、レポートの作成、プレゼンテーションの実施をする</p> <p>【授業における達成課題】 講義における受動的な知識の吸収ではなく、自らが関心を持ったテーマについて研究を行うことで能動的に教養を深めたいと考える人材へと成長を図る</p>			
使用教材		出版社	
なし		なし	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（プレゼンテーション）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
卒業研究		45	時間 下山 裕・畠山 真司
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	オリエンテーション	授業の目的の理解と目指すべき人材像の理解	
2回	テーマ選択	研究チームの結成と研究テーマの決定	
3回	〃	〃	
4回	研究計画書の策定	研究目的と研究の進め方について検討を行い、計画書の作成を実施	
5回	〃	〃	
6回	計画発表	各グループの研究テーマおよび内容、計画についてプレゼンテーションを実施	
7回	〃	〃	
8回	グループ研究	HRならびに現地において調査活動を実施	
9回	〃	〃	
10回	〃	〃	
11回	〃	〃	
12回	〃	〃	
13回	〃	〃	
14回	〃	〃	
15回	〃	〃	
16回	第1回中間報告前レポート作成	これまでの研究の成果と今後の課題についてレポートの作成を実施	
17回	〃	〃	
18回	第1回中間報告	研究の進捗度および今後の展望についてプレゼンテーションを行う	
19回	〃	〃	
20回	グループ研究	中間報告での担当教員および他学生からの指摘事項を元により研究の精度を高める	
21回	〃	〃	
22回	〃	〃	
23回	〃	〃	
24回	〃	〃	
25回	〃	〃	
26回	〃	〃	
27回	〃	〃	
28回	第2回中間報告前レポート作成	これまでの研究の成果と今後の課題についてレポートの作成を実施	
29回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
30 回	第2回中間報告	進捗度の報告と最終プレゼンテーションに向けての課題の洗い出しを行う
31 回	〃	〃
32 回	グループ研究	第2回の中間報告を受けて、研究の完成をイメージし、最後のグループ研究を行う
33 回	〃	〃
34 回	〃	〃
35 回	〃	〃
36 回	〃	〃
37 回	〃	〃
38 回	研究レポートの作成	これまでの研究の成果をレポートにまとめ提出をする
39 回	〃	〃
40 回	〃	〃
41 回	〃	〃
42 回	最終報告会	これまでの研究成果について、各グループでプレゼンテーションを行い、研究の総仕上げを行う
43 回	〃	〃
44 回	〃	〃
45 回	〃	〃